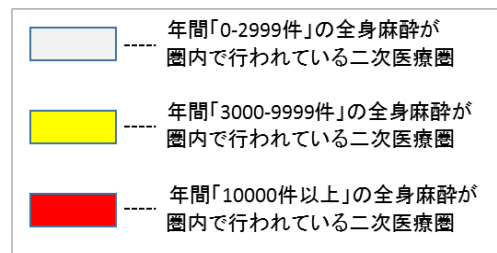
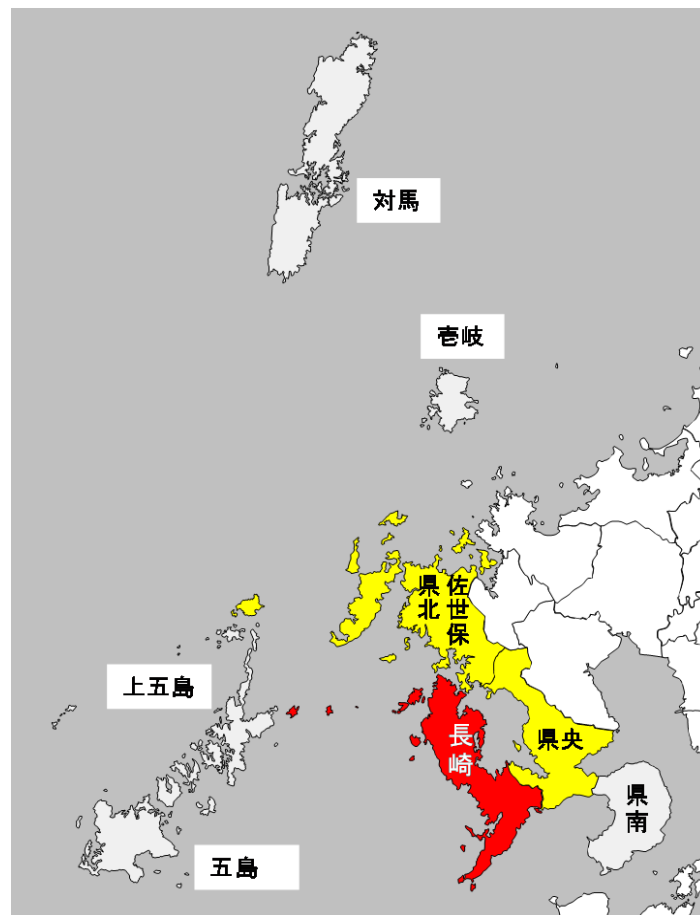


# 42. 長崎県

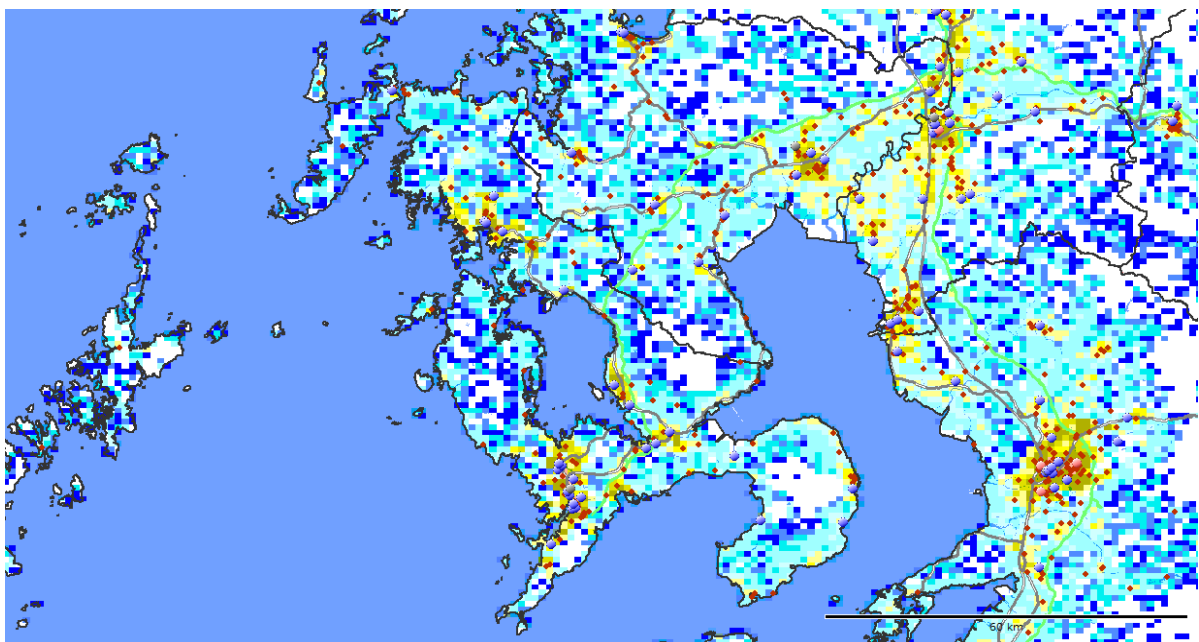


目次

長崎県	42	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	42	-	8
1. 長崎医療圏	42	-	26
2. 佐世保県北医療圏	42	-	31
3. 県央医療圏	42	-	36
4. 県南医療圏	42	-	41
5. 五島医療圏	42	-	46
6. 上五島医療圏	42	-	51
7. 壱岐医療圏	42	-	56
8. 対馬医療圏	42	-	61

# 42. 長崎県

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群

一般病院

## （長崎県） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 長崎県は、総人口約1371千人(2015年推計)、面積4105km<sup>2</sup>、人口密度は334人/km<sup>2</sup>である。

**\*人口の将来予測：** 長崎県の総人口は2025年に1250千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に1049千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の216千人が、2025年にかけて252千人へと増加し(2015年比+17%)、2040年には260千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 長崎県の一人当たり医療費(国保)は379千円(偏差値65)、介護給付費は293千円(偏差値61)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 長崎県の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.12、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.88で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が56(病院医師数56、診療所医師数56)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は67と非常に多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は58で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値64と多く、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は64で精神病床数は多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は62で診療所数は多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 長崎県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、22130人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が12520床(偏差値49)、高齢者住宅等が9610床(偏差値53)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、18113人(75歳以上1000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム42、軽費ホーム59、グループホーム69、サ高住51である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値64と多く、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、2757人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-9%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

長崎県の総人口は、2005年1478632人が、2015年に1370896人と7%減少し、2025年の人口が1250016人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

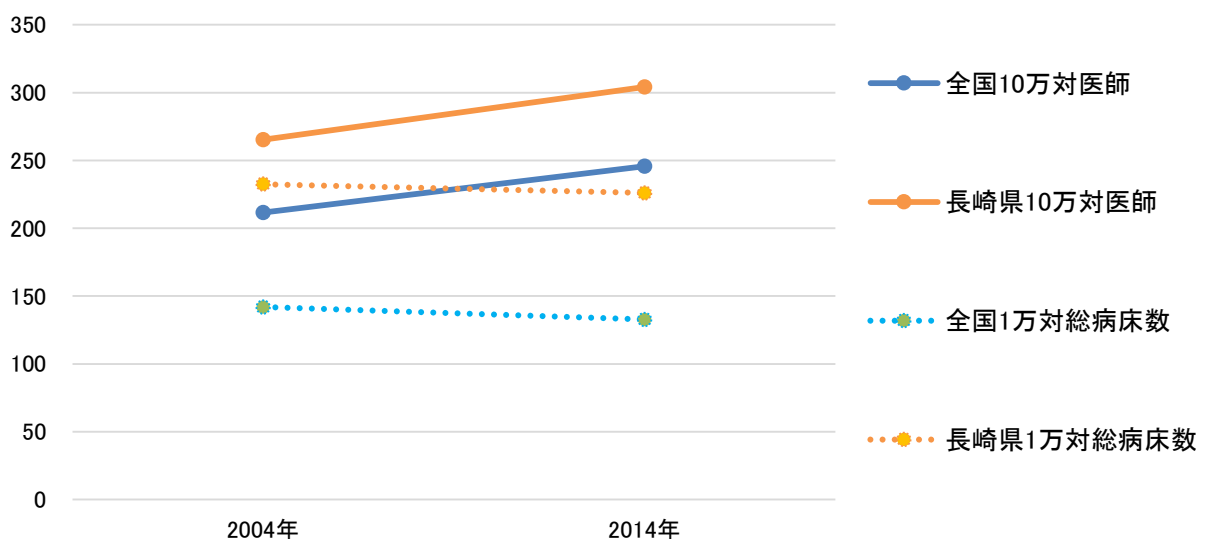
2004年の病院数が169(人口10万人当たり11.4病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2014年に156(人口10万人当たり11.4病院(全国平均6.7)偏差値61)となり、10年間で13病院が減少した。

2004年の診療所数が1450(人口10万人当たり98診療所(全国平均76)偏差値61)であったが、2014年に1409(人口10万人当たり103診療所(全国平均79)偏差値62)と、41診療所が減少した。

2004年の総病床数が34382床(人口1万人当たり233(全国平均142)偏差値66)であったが、2014年に30990床(人口1万人当たり226(全国平均133)偏差値67)と、3392床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が3924人(人口10万人当たり265人(全国平均212人)偏差値56)であったが、2014年に4170人(人口10万人当たり304人(全国平均246人)偏差値56)と、246人の増加、率にして6%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

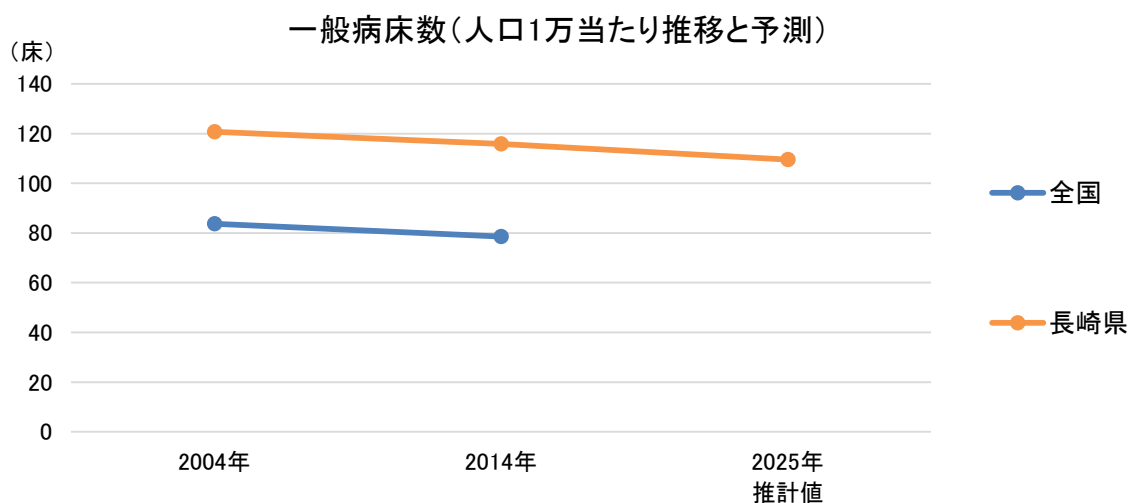
2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



## 42. 長崎県（2016年版）

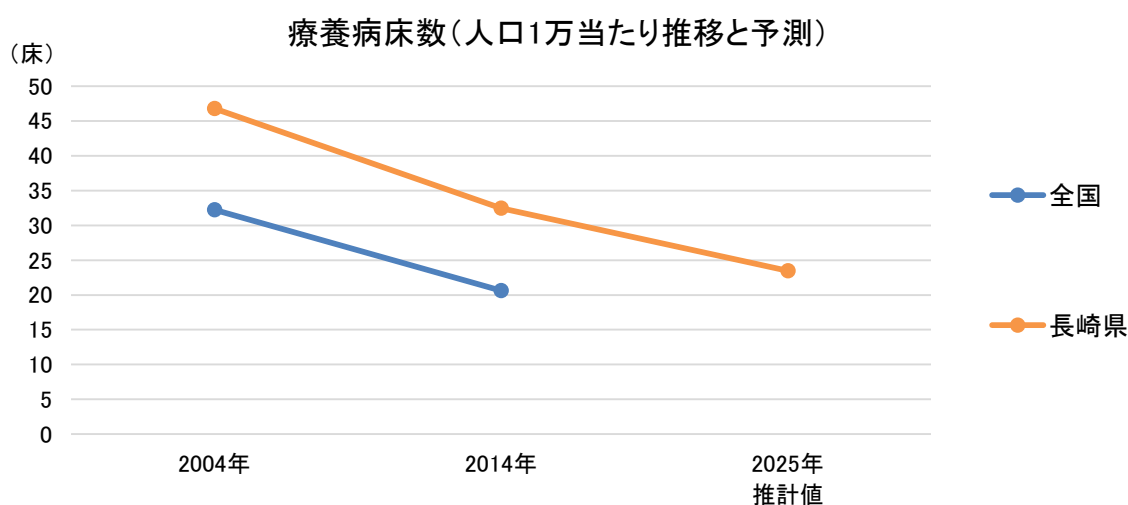
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が17860床(人口1万人当たり121(全国平均84)偏差値63)であったが、2014年に15875床(人口1万人当たり116(全国平均79)偏差値64)と、1985床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には13692床(2025年の推計人口1万人当たり110)になることが予想される。



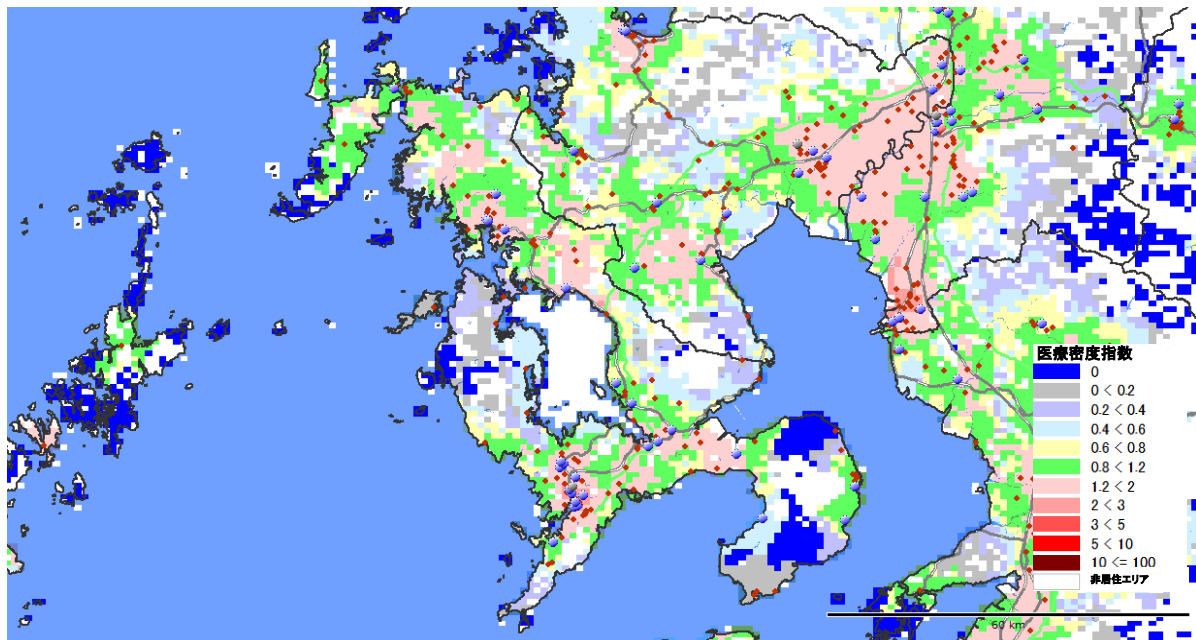
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が8000床(75歳以上1000人当たり47(全国平均32)偏差値58)であったが、2014年に7012床(75歳以上1000人当たり32(全国平均21)偏差値60)と、988床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には5925床(2025年の推計75歳以上1000人当たり23)になることが予想される。

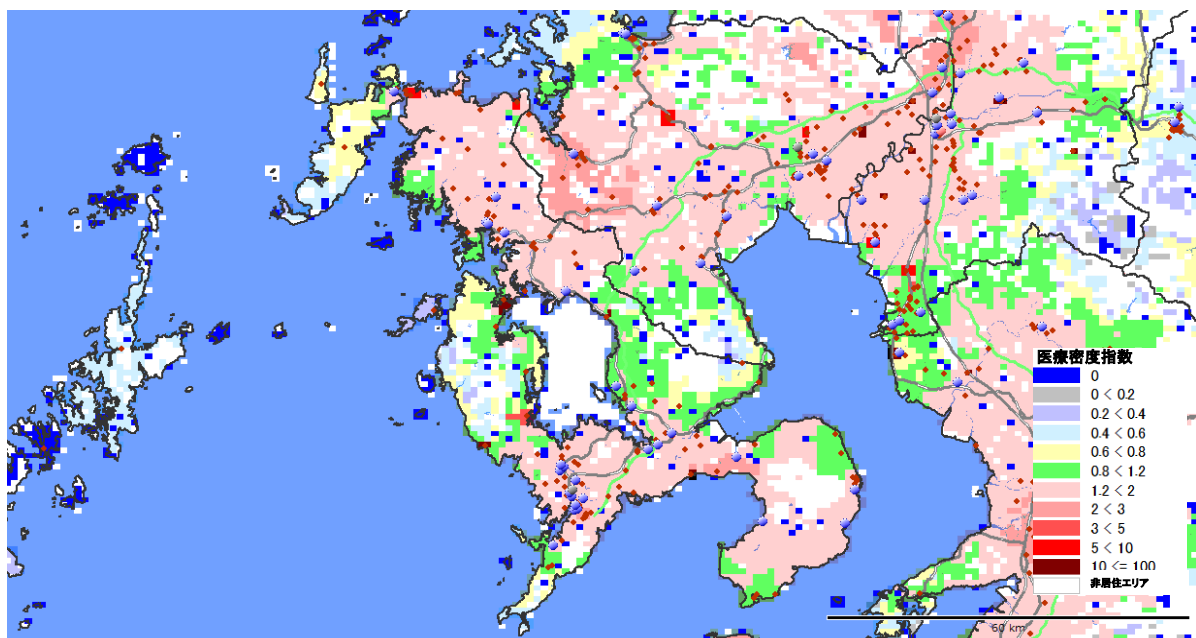


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表42-1 急性期医療密度指数マップ



図表42-2 慢性期医療密度指数マップ



42. 長崎県 (2016年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料<sup>6</sup>

資\_図表 42-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
長崎県	1,371	29位	4,105	37位	333.9		30%	1,250	1,049	216	252	260	-9%	-16%	17%	3%
長崎	531	39%	698	17%	761.2	地方都市型	29%	491	418	78	96	102	-8%	-15%	23%	6%
佐世保県北	320	23%	825	20%	387.9	地方都市型	30%	290	241	51	59	57	-9%	-17%	16%	-3%
県央	266	19%	615	15%	432.0	地方都市型	27%	253	225	36	46	51	-5%	-11%	28%	11%
県南	136	10%	460	11%	296.6	地方都市型	34%	119	95	26	28	28	-13%	-20%	8%	0%
五島	37	3%	421	10%	87.9	過疎地域型	37%	31	22	8	8	8	-16%	-29%	0%	0%
上五島	22	2%	239	6%	92.3	過疎地域型	39%	17	12	5	5	4	-23%	-29%	0%	-20%
壱岐	27	2%	139	3%	197.4	地方都市型	35%	24	19	5	6	5	-11%	-21%	20%	-17%
対馬	31	2%	709	17%	43.8	過疎地域型	34%	25	18	6	6	5	-19%	-28%	0%	-17%

出典 <人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月  
<面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年

資\_図表 42-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)	
			2025年	2040年
全国	1.00	1.00	-26.7%	-27.2%
長崎県	1.12	1.88	-5.8%	-9.3%
長崎	1.34	2.15	-26.8%	-34.1%
佐世保県北	1.14	1.60	11.1%	14.0%
県央	1.07	2.20	-49.1%	-68.0%
県南	0.55	0.66	20.0%	18.6%
五島	1.04	1.06	24.7%	26.6%
上五島	0.51	2.75	25.9%	31.7%
壱岐	0.81	0.82	-25.7%	-12.7%
対馬	0.84	2.05	10.6%	18.4%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。  
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。



資\_図表 42-3 医療費、介護給付費<sup>7</sup>

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	319	(41)	1.000	254	(37)
長崎県	379	65	1.158	293	61
長崎	415	73	1.254	296	61
佐世保県北	361	60	1.104	292	60
県央	385	66	1.182	250	49
県南	339	55	1.107	330	71
五島	320	50	0.968	366	80
上五島	358	59	1.028	333	71
杵岐	359	60	1.144	281	57
対馬	330	53	1.040	282	58
出典	<一人あたり医療費>平成25年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成26年度介護保険事業状況報告(年報) 平成26年度累計(平成26年3月サービス分から平成27年2月サービス分まで)				

資\_図表 42-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,493		6.7	(4.1)	100,461		79	(19.5)
長崎県	156	1.8%	11.4	61	1,409	1.4%	103	62
長崎	56	36%	10.5	59	655	46%	123	73
佐世保県北	38	24%	11.9	63	278	20%	87	54
県央	31	20%	11.7	62	255	18%	96	59
県南	17	11%	12.5	64	109	8%	80	50
五島	4	3%	10.8	60	42	3%	113	68
上五島	1	1%	4.5	45	23	2%	104	63
杵岐	6	4%	21.9	87	17	1%	62	41
対馬	3	2%	9.7	57	30	2%	97	59
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

42. 長崎県 (2016年版)

資\_図表 42-5 診療所数 (全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,461		79	(19.5)	92,106		73	(19.0)	8,355		6.6	(6.6)
長崎県	1,409	1.4%	103	62	1,117	1.2%	81	55	292	3.5%	21.3	72
長崎	655	46%	123	73	564	50%	106	68	91	31%	17.1	66
佐世保県北	278	20%	87	54	199	18%	62	44	79	27%	24.7	77
県央	255	18%	96	59	186	17%	70	49	69	24%	26.0	79
県南	109	8%	80	50	71	6%	52	39	38	13%	27.9	82
五島	42	3%	113	68	30	3%	81	54	12	4%	32.4	89
上五島	23	2%	104	63	22	2%	100	64	1	0%	4.5	47
壱岐	17	1%	62	41	16	1%	59	43	1	0%	3.7	46
対馬	30	2%	97	59	29	3%	93	61	1	0%	3.2	45
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 42-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,568,261		1,238	(503)	112,364		89	(106)	1,680,625		1,327	(565)
長崎県	26,780	1.7%	1,953	64	4,210	3.7%	307	71	30,990	1.8%	2,261	67
長崎	11,350	42%	2,136	68	1,317	31%	248	65	12,667	41%	2,384	69
佐世保県北	5,937	22%	1,856	62	1,094	26%	342	74	7,031	23%	2,197	65
県央	5,648	21%	2,125	68	1,019	24%	383	78	6,667	22%	2,508	71
県南	2,205	8%	1,617	58	571	14%	419	81	2,776	9%	2,036	63
五島	508	2%	1,373	53	170	4%	459	85	678	2%	1,832	59
上五島	186	1%	842	42	17	0%	77	49	203	1%	919	43
壱岐	548	2%	2,004	65	16	0%	59	47	564	2%	2,063	63
対馬	398	1%	1,283	51	6	0%	19	43	404	1%	1,302	50
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 42-7 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	894,216		706	(229)	328,144		259	(210)	338,174		267	(219)
長崎県	12,270	1.4%	895	58	6,407	2.0%	467	60	7,922	2.3%	578	64
長崎	4,975	41%	936	60	2,511	39%	473	60	3,820	48%	719	71
佐世保県北	2,747	22%	859	57	1,692	26%	529	63	1,472	19%	460	59
県央	2,661	22%	1,001	63	1,077	17%	405	57	1,843	23%	693	69
県南	819	7%	601	45	778	12%	571	65	604	8%	443	58
五島	380	3%	1,027	64	54	1%	146	45	60	1%	162	45
上五島	132	1%	597	45	50	1%	226	48	0	0%	0	38
壱岐	252	2%	922	59	208	3%	761	74	78	1%	285	51
対馬	304	2%	980	62	37	1%	119	43	45	1%	145	44
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 42-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数<sup>8</sup>

二次医療圏	回復期病床				地域包括ケア病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	70,480		56	(47)	36,025		34	(48)
長崎県	1,117	1.6%	81	55	1,025	2.8%	75	58
長崎	643	58%	121	64	438	43%	82	60
佐世保県北	191	17%	60	51	133	13%	42	52
県央	163	15%	61	51	190	19%	71	58
県南	120	11%	88	57	213	21%	156	75
五島	0	0%	0	38	0	0%	0	43
上五島	0	0%	0	38	0	0%	0	43
壱岐	0	0%	0	38	51	5%	187	82
対馬	0	0%	0	38	0	0%	0	43
出典	平成26年度病床機能報告				平成28年6月地方厚生局(関東信越厚生局のみ7月公表分)。近畿厚生局は病床数データがないため非掲載。			

42. 長崎県（2016年版）

資\_図表 42-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
長崎県	7,794	7,002	250	18,632	5,111	6,120	57.8%	52	3.9%	48
長崎	2,436	2,350	0	8,735	2,595	2,511	47.5%	48	0.0%	46
佐世保県北	1,776	1,658	92	4,122	1,053	1,600	61.2%	54	5.4%	48
県央	2,070	1,835	0	3,505	757	1,077	70.8%	58	0.0%	46
県南	404	340	60	1,801	479	718	41.5%	46	7.7%	49
五島	359	285	0	149	95	54	75.0%	59	0.0%	46
上五島	186	132	50	0	0	0	100.0%	70	100.0%	89
壱岐	228	120	48	320	132	160	47.6%	48	23.1%	56
対馬	335	282	0	0	0	0	100.0%	70		
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウエルネスが集計(一部、ウエルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資\_図表 42-10 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
長崎県	28,980	1.0%	2,114	49	12,924	1.3%	943	55
長崎	13,092	45%	2,464	52	4,188	32%	788	49
佐世保県北	8,316	29%	2,599	54	3,576	28%	1,118	61
県央	5,316	18%	2,000	48	3,252	25%	1,223	65
県南	1,500	5%	1,100	39	972	8%	713	47
五島	300	1%	811	37	360	3%	973	56
上五島	132	0%	597	35	144	1%	652	45
壱岐	60	0%	219	31	276	2%	1,009	57
対馬	264	1%	851	37	156	1%	503	39
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 42-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	340,791		269	(92)	210,112		166	(67)	130,678		103	(33)
長崎県	4,471	1.3%	326	56	2,780	1.3%	203	56	1,691	1.3%	123	56
長崎	2,229	50%	420	66	1,385	50%	261	64	844	50%	159	67
佐世保県北	836	19%	261	49	517	19%	162	49	318	19%	99	49
県央	861	19%	324	56	554	20%	208	56	307	18%	116	54
県南	296	7%	217	44	166	6%	122	43	130	8%	95	48
五島	86	2%	232	46	48	2%	130	45	38	2%	102	50
上五島	44	1%	198	42	25	1%	113	42	19	1%	85	44
舌岐	62	1%	226	45	46	2%	168	50	16	1%	58	36
対馬	58	1%	187	41	39	1%	126	44	19	1%	61	37
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 42-12 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.4	(6.7)	12,494		9.9	(4.6)	10,443		8.2	(3.8)
長崎県	206	1.3%	15.0	54	150	1.2%	10.9	52	136	1.3%	9.9	54
長崎	118	57%	22.2	65	77	51%	14.5	60	72	53%	13.6	64
佐世保県北	28	14%	8.8	45	23	15%	7.2	44	23	17%	7.2	47
県央	46	22%	17.3	57	42	28%	15.8	63	22	16%	8.3	50
県南	9	4%	6.6	41	4	3%	2.9	35	9	7%	6.6	46
五島	3	1%	8.1	44	2	1%	5.4	40	3	2%	8.1	50
上五島	0	0%	0	32	0	0%	0	28	2	1%	9.1	52
舌岐	2	1%	7.3	43	2	1%	7.3	44	2	1%	7.3	48
対馬	0	0%	0	32	0	0%	0	28	3	2%	9.7	54
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

42. 長崎県 (2016年版)

資\_図表 42-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.2)	7,466		5.9	(2.6)
長崎県	75	1.4%	5.5	56	92	1.0%	6.7	48	88	1.2%	6.4	52
長崎	43	57%	8.1	68	52	57%	9.8	57	47	53%	8.8	61
佐世保県北	11	15%	3.4	47	15	16%	4.7	42	17	19%	5.3	48
県央	16	21%	6.0	59	15	16%	5.6	44	19	22%	7.1	55
県南	4	5%	2.9	44	4	4%	2.9	36	2	2%	1.5	33
五島	1	1%	2.7	43	2	2%	5.4	44	2	2%	5.4	48
上五島	0	0%	0	30	1	1%	4.5	41	0	0%	0	27
壱岐	0	0%	0	30	2	2%	7.3	50	0	0%	0	27
対馬	0	0%	0	30	1	1%	3.2	37	1	1%	3.2	40
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 42-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.1	(7.2)	15,369		12.1	(4.5)
長崎県	134	1.6%	9.8	59	259	1.3%	18.9	54	209	1.4%	15.2	57
長崎	67	50%	12.6	67	139	54%	26.2	64	106	51%	20.0	67
佐世保県北	28	21%	8.8	56	47	18%	14.7	48	36	17%	11.3	48
県央	33	25%	12.4	67	51	20%	19.2	54	44	21%	16.6	60
県南	4	3%	2.9	40	15	6%	11.0	43	14	7%	10.3	46
五島	1	1%	2.7	39	4	2%	10.8	43	2	1%	5.4	35
上五島	0	0%	0	31	2	1%	9.1	40	1	0%	4.5	33
壱岐	1	1%	3.7	42	0	0%	0	27	3	1%	11.0	47
対馬	0	0%	0	31	1	0%	3.2	32	3	1%	9.7	45
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 42-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.1)	6,376		5.0	(2.4)	5,300		4.2	(3.0)
長崎県	70	1.2%	5.1	53	76	1.2%	5.5	52	74	1.4%	5.4	54
長崎	34	49%	6.4	59	34	45%	6.4	56	38	51%	7.2	60
佐世保県北	14	20%	4.4	49	20	26%	6.3	55	13	18%	4.1	50
県央	13	19%	4.9	52	18	24%	6.8	57	16	22%	6.0	56
県南	8	11%	5.9	57	3	4%	2.2	38	5	7%	3.7	48
五島	1	1%	2.7	41	1	1%	2.7	40	1	1%	2.7	45
上五島	0	0%	0	28	0	0%	0	29	0	0%	0	36
舌岐	0	0%	0	28	0	0%	0	29	0	0%	0	36
対馬	0	0%	0	28	0	0%	0	29	1	1%	3.2	47
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 42-16 専門医数(麻醉科、病理、救急科)

二次医療圏	麻醉科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.1)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
長崎県	79	1.2%	5.8	52	19	1.2%	1.4	52	33	1.0%	2.4	49
長崎	47	59%	8.8	62	10	53%	1.9	57	12	36%	2.3	48
佐世保県北	12	15%	3.8	45	4	21%	1.3	50	7	21%	2.2	48
県央	15	19%	5.6	51	4	21%	1.5	53	10	30%	3.8	57
県南	4	5%	2.9	43	1	5%	0.7	45	2	6%	1.5	43
五島	0	0%	0	33	0	0%	0	37	0	0%	0	35
上五島	0	0%	0	33	0	0%	0	37	0	0%	0	35
舌岐	0	0%	0	33	0	0%	0	37	1	3%	3.7	56
対馬	1	1%	3.2	44	0	0%	0	37	1	3%	3.2	54
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

42. 長崎県（2016年版）

資\_図表 42-17 専門医数（形成外科、リハビリテーション科）

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
長崎県	35	1.8%	2.6	58	24	1.0%	1.8	49
長崎	21	60%	4.0	70	18	75%	3.4	62
佐世保県北	4	11%	1.3	47	2	8%	0.6	40
県央	8	23%	3.0	62	3	13%	1.1	44
県南	2	6%	1.5	49	0	0%	0	36
五島	0	0%	0	37	0	0%	0	36
上五島	0	0%	0	37	0	0%	0	36
舌岐	0	0%	0	37	1	4%	3.7	64
対馬	0	0%	0	37	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資\_図表 42-18 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,100,601		869	(289)	903,500		713	(241)	197,102		156	(74)
長崎県	18,549	1.7%	1,353	67	14,791	1.6%	1,079	65	3,758	1.9%	274	66
長崎	7,903	43%	1,487	71	6,307	43%	1,187	70	1,595	42%	300	70
佐世保県北	4,123	22%	1,289	65	3,319	22%	1,037	63	804	21%	251	63
県央	3,762	20%	1,415	69	3,105	21%	1,168	69	657	17%	247	62
県南	1,653	9%	1,212	62	1,215	8%	891	57	437	12%	321	72
五島	389	2%	1,052	56	251	2%	677	49	139	4%	375	80
上五島	165	1%	745	46	111	1%	504	41	53	1%	241	62
舌岐	274	1%	1,002	55	239	2%	875	57	35	1%	127	46
対馬	281	2%	906	51	244	2%	785	53	38	1%	121	45
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			



資\_図表 42-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	119,431		94	(52)	288,151		227	(98)
長崎県	2,314	1.9%	169	64	2,834	1.0%	207	48
長崎	1,183	51%	223	75	1,407	50%	265	54
佐世保県北	409	18%	128	56	587	21%	183	45
県央	394	17%	148	60	479	17%	180	45
県南	262	11%	192	69	193	7%	142	41
五島	13	1%	35	39	49	2%	132	40
上五島	9	0%	41	40	25	1%	113	38
舌岐	20	1%	73	46	47	2%	172	44
対馬	24	1%	77	47	47	2%	151	42
出典	平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資\_図表 42-20 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,679		0.9	(0.5)	1,120		0.1	(0.1)	9,602		0.6	(0.2)
長崎県	329	2.2%	1.5	64	21	1.9%	0.1	55	107	1.1%	0.5	45
長崎	165	50%	2.1	76	10	48%	0.1	59	50	47%	0.6	53
佐世保県北	47	14%	0.9	51	3	14%	0.1	49	17	16%	0.3	36
県央	85	26%	2.4	82	3	14%	0.1	52	16	15%	0.4	42
県南	25	8%	1.0	51	3	14%	0.1	57	13	12%	0.5	45
五島	2	1%	0.2	36	1	5%	0.1	58	5	5%	0.6	52
上五島	0	0%	0	31	0	0%	0	39	2	2%	0.4	40
舌岐	5	2%	0.9	50	1	5%	0.2	68	2	2%	0.4	38
対馬	0	0%	0	31	0	0%	0	39	2	2%	0.4	37
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成28年5月			

42. 長崎県 (2016年版)

資\_図表 42-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,633,619		99	(17)	983,880		60	(13)	649,739		39	(15)
長崎県	22,130	1.4%	102	52	12,520	1.3%	58	49	9,610	1.5%	44	53
長崎	7,161	32%	91	45	4,253	34%	54	46	2,908	30%	37	48
佐世保県北	6,315	29%	123	64	3,292	26%	64	54	3,023	31%	59	63
県央	3,102	14%	86	42	1,686	13%	47	40	1,416	15%	39	50
県南	3,141	14%	120	62	1,568	13%	60	50	1,573	16%	60	64
五島	910	4%	111	57	546	4%	67	56	364	4%	45	53
上五島	543	2%	108	55	395	3%	79	65	148	2%	29	43
杵岐	378	2%	69	32	340	3%	62	52	38	0%	7	28
対馬	580	3%	102	52	440	4%	77	64	140	1%	25	40
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 42-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	361,993		22	(5.7)	554,289		34	(10.0)	67,598		4.1	(4.1)
長崎県	4,696	1.3%	22	50	6,846	1.2%	32	48	978	1.4%	4.5	51
長崎	1,663	35%	21	49	2,305	34%	29	46	285	29%	3.6	49
佐世保県北	1,056	22%	21	48	1,774	26%	35	51	462	47%	9.0	62
県央	680	14%	19	45	954	14%	27	43	52	5%	1.4	44
県南	617	13%	23	53	792	12%	30	46	159	16%	6.0	55
五島	200	4%	24	54	346	5%	42	59	0	0%	0	40
上五島	160	3%	32	67	235	3%	47	63	0	0%	0	40
杵岐	160	3%	29	63	160	2%	29	45	20	2%	3.6	49
対馬	160	3%	28	61	280	4%	49	66	0	0%	0	40
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 42-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア			軽費ホーム	全国シェア			グループホーム	全国シェア		
		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	223,346		13.6	(10.3)	22,728		1.4	(2.1)	191,184		11.6	(5.6)
長崎県	1,081	0.5%	5.0	42	710	3.1%	3.3	59	4,846	2.5%	22.4	69
長崎	311	29%	4.0	41	100	14%	1.3	49	1,372	28%	17.5	61
佐世保県北	628	58%	12.3	49	380	54%	7.4	79	1,221	25%	23.9	72
県央	18	2%	0.5	37	50	7%	1.4	50	749	15%	20.8	66
県南	124	11%	4.7	41	130	18%	4.9	67	967	20%	36.8	95
五島	0	0%	0	37	0	0%	0	43	321	7%	39.3	99
上五島	0	0%	0	37	0	0%	0	43	108	2%	21.5	68
壱岐	0	0%	0	37	0	0%	0	43	18	0%	3.3	35
対馬	0	0%	0	37	50	7%	8.8	86	90	2%	15.8	57
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 42-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)	全国シェア			サ高住(特定施設)	全国シェア			サ高住(非特定施設)	全国シェア			
		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国	212,481		12.9	(6.7)	13,027		0.8	(1.6)	199,454		12.1	(6.3)	
長崎県	2,973	1.4%	13.8	51	242	1.9%	1.1	52	2,731	1.4%	12.6	51	
長崎	1,125	38%	14.4	52	156	64%	2.0	58	969	35%	12.4	50	
佐世保県北	794	27%	15.5	54	30	12%	0.6	49	764	28%	14.9	54	
県央	599	20%	16.7	56	0	0%	0	45	599	22%	16.7	57	
県南	352	12%	13.4	51	36	15%	1.4	54	316	12%	12.0	50	
五島	43	1%	5.3	39	0	0%	0	45	43	2%	5.3	39	
上五島	40	1%	8.0	43	20	8%	4.0	70	20	1%	4.0	37	
壱岐	20	1%	3.6	36	0	0%	0	45	20	1%	3.6	37	
対馬	0	0%	0	31	0	0%	0	45	0	0%	0	31	
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計			平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの					平成28年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの				

42. 長崎県 (2016年版)

資\_図表 42-25 介護サービス従事看護師数 (介護施設、訪問看護) (常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	160,468		9.7	(2.4)	118,281		7.2	(2.2)	42,186		2.6	(0.8)
長崎県	2,341	1.5%	10.8	55	1,846	1.6%	8.5	56	495	1.2%	2.3	47
長崎	819	35%	10.5	53	585	32%	7.5	51	235	47%	3.0	55
佐世保県北	641	27%	12.5	62	570	31%	11.1	68	72	14%	1.4	36
県央	284	12%	7.9	42	210	11%	5.8	44	74	15%	2.1	44
県南	370	16%	14.1	68	304	16%	11.5	70	66	13%	2.5	49
五島	79	3%	9.7	50	58	3%	7.1	50	21	4%	2.6	51
上五島	42	2%	8.4	44	35	2%	7.0	49	7	1%	1.4	36
壱岐	58	2%	10.6	54	44	2%	7.9	53	15	3%	2.6	51
対馬	48	2%	8.3	44	42	2%	7.4	51	6	1%	1.0	31
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 42-26 介護サービス従事介護職員数 (介護施設等、在宅介護) (常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設等)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (在宅)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,482,791		90	(12.3)	1,259,191		77	(11.5)	223,600		13.6	(5.5)
長崎県	20,869	1.4%	97	55	18,113	1.4%	84	56	2,757	1.2%	12.8	48
長崎	7,576	36%	97	55	6,183	34%	79	52	1,393	51%	17.8	58
佐世保県北	5,078	24%	99	57	4,624	26%	90	62	454	16%	8.9	41
県央	3,124	15%	87	47	2,678	15%	74	48	446	16%	12.4	48
県南	2,507	12%	95	54	2,356	13%	90	61	151	5%	5.8	36
五島	948	5%	116	71	806	4%	99	69	142	5%	17.4	57
上五島	602	3%	120	74	558	3%	111	80	43	2%	8.6	41
壱岐	515	2%	94	53	426	2%	78	51	89	3%	16.2	55
対馬	520	2%	91	51	481	3%	85	57	38	1%	6.7	38
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 42-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		65	(31)	412,167		25	(11)	1,493,642		91	(31)
長崎県	13,805	1.3%	64	50	3,854	0.9%	18	43	21,045	1.4%	97	52
長崎	7,788	56%	99	61	2,184	57%	28	53	11,546	55%	147	68
佐世保県北	2,929	21%	57	47	541	14%	11	36	3,611	17%	71	44
県央	1,798	13%	50	45	400	10%	11	37	2,299	11%	64	41
県南	866	6%	33	39	392	10%	15	41	1,730	8%	66	42
五島	276	2%	34	40	138	4%	17	42	748	4%	92	50
上五島	25	0%	5	30	34	1%	7	33	297	1%	59	40
壱岐	114	1%	21	35	126	3%	23	48	434	2%	79	46
対馬	9	0%	2	29	39	1%	7	33	380	2%	67	42
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 42-28 総人口の推移と医療需要の増減

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移 (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年 (推計)	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 2015医療 点数増減 率	2015→ 2025医療 点数増減 率	2005→ 2025医療 点数増減 率
全国		127,767,994	126,660,501	-1%	120,699,960	-6%	13%	5%	18%
長崎県		1,478,632	1,370,896	-7%	1,250,016	-15%	4%	1%	5%
長崎	地方都市型	560,668	531,309	-5%	491,367	-12%	7%	3%	10%
佐世保県北	地方都市型	348,653	319,956	-8%	289,589	-17%	3%	-1%	2%
県央	地方都市型	272,256	265,818	-2%	252,766	-7%	10%	6%	16%
県南	地方都市型	154,088	136,341	-12%	119,325	-23%	-1%	-4%	-4%
五島	過疎地域型	44,765	37,007	-17%	30,529	-32%	-6%	-8%	-13%
上五島	過疎地域型	28,307	22,095	-22%	17,405	-39%	-9%	-11%	-19%
壱岐	地方都市型	31,414	27,345	-13%	23,617	-25%	-4%	-7%	-11%
対馬	過疎地域型	38,481	31,025	-19%	25,418	-34%	-7%	-8%	-14%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年、2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

42. 長崎県（2016年版）

資\_図表 42-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
長崎県	169	11.4	61	156	11.4	61	-13	-8%	142
長崎	62	11.1	60	56	10.5	59	-6	-10%	49
佐世保県北	41	11.8	62	38	11.9	63	-3	-7%	35
県央	31	11.4	61	31	11.7	62	0	0%	31
県南	17	11.0	60	17	12.5	64	0	0%	17
五島	5	11.2	61	4	10.8	60	-1	-20%	3
上五島	3	10.6	59	1	4.5	45	-2	-67%	-1
壱岐	7	22.3	89	6	21.9	87	-1	-14%	5
対馬	3	7.8	52	3	9.7	57	0	0%	3
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 42-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
長崎県	1,450	98	61	1,409	103	62	-41	-3%	1,364
長崎	676	121	72	655	123	73	-21	-3%	632
佐世保県北	303	87	55	278	87	54	-25	-8%	251
県央	251	92	58	255	96	59	4	2%	259
県南	105	68	46	109	80	50	4	4%	113
五島	45	101	62	42	113	68	-3	-7%	39
上五島	22	78	51	23	104	63	1	5%	24
壱岐	15	48	36	17	62	41	2	13%	19
対馬	33	86	55	30	97	59	-3	-9%	27
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 42-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	246	(98)	40,834	15%	356,135
長崎県	3,924	265	56	4,170	304	56	246	6%	4,442
長崎	1,964	350	67	2,159	406	66	195	10%	2,374
佐世保県北	777	223	51	743	232	49	-34	-4%	706
県央	717	263	56	817	307	56	100	14%	927
県南	249	162	44	243	178	43	-6	-2%	236
五島	80	179	46	79	213	47	-1	-1%	78
上五島	37	131	40	33	149	40	-4	-11%	29
壱岐	43	137	41	42	154	41	-1	-2%	41
対馬	57	148	42	54	174	43	-3	-5%	51
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資\_図表 42-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	133	(57)	-131,929	-7%	1,535,514
長崎県	34,382	233	66	30,990	226	67	-3,392	-10%	27,259
長崎	14,176	253	70	12,667	238	69	-1,509	-11%	11,007
佐世保県北	7,567	217	63	7,031	220	65	-536	-7%	6,441
県央	7,275	267	72	6,667	251	71	-608	-8%	5,998
県南	3,030	197	60	2,776	204	63	-254	-8%	2,497
五島	840	188	58	678	183	59	-162	-19%	500
上五島	351	124	47	203	92	43	-148	-42%	40
壱岐	647	206	61	564	206	63	-83	-13%	473
対馬	496	129	48	404	130	50	-92	-19%	303
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

42. 長崎県 (2016年版)

資\_図表 42-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	79	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
長崎県	17,860	121	63	15,875	116	64	-1,985	-11%	13,692	110
長崎	7,101	127	65	6,156	116	64	-945	-13%	5,117	104
佐世保県北	3,904	112	60	3,635	114	63	-269	-7%	3,339	115
県央	3,798	140	70	3,524	133	70	-274	-7%	3,223	128
県南	1,415	92	53	1,297	95	56	-118	-8%	1,167	98
五島	659	147	73	550	149	76	-109	-17%	430	141
上五島	291	103	57	143	65	45	-148	-51%	-20	-11
壱岐	290	92	53	260	95	56	-30	-10%	227	96
対馬	402	104	57	310	100	58	-92	-23%	209	82
出典	<一般病床数2004年> 平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年> 平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資\_図表 42-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
長崎県	8,000	47	58	7,012	32	60	-988	-12%	5,925	23
長崎	3,001	50	60	2,647	34	61	-354	-12%	2,258	24
佐世保県北	2,095	50	60	1,898	37	64	-197	-9%	1,681	29
県央	1,460	55	63	1,233	34	62	-227	-16%	983	22
県南	991	45	57	871	33	61	-120	-12%	739	27
五島	107	15	40	54	7	38	-53	-50%	-4	0
上五島	56	13	39	56	11	42	0	0%	56	12
壱岐	253	52	61	216	39	66	-37	-15%	175	32
対馬	37	8	36	37	7	38	0	0%	37	6
出典	<一般病床数2004年> 平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年> 平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									



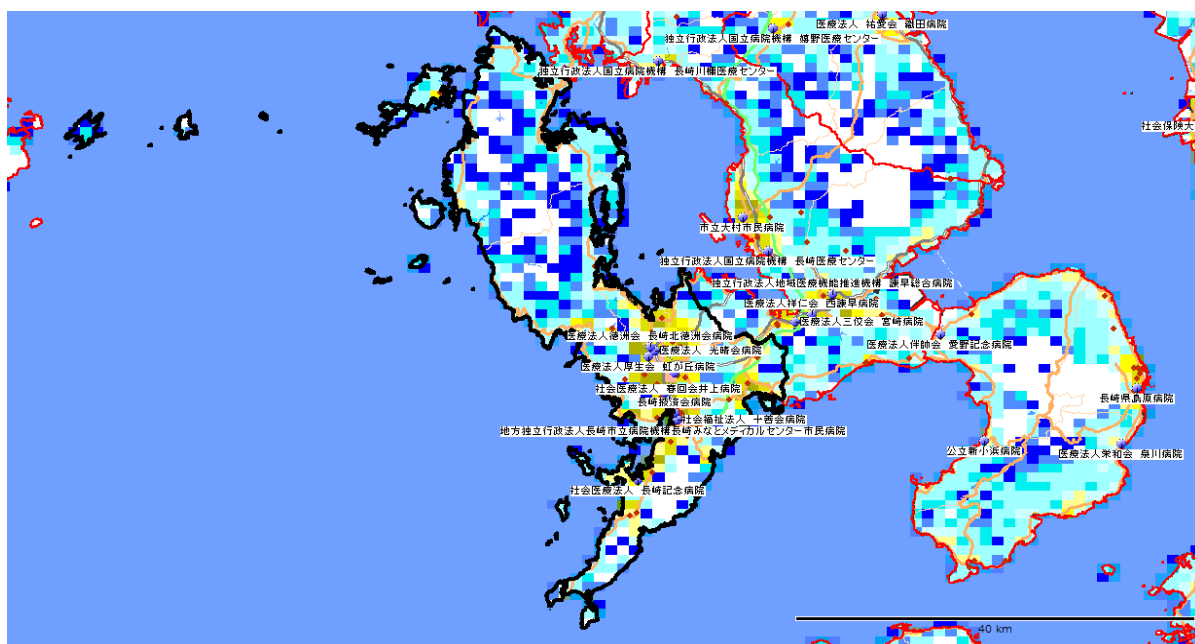
資\_図表 42-35【補足】 市町村国民健康保険 診療種別、1人当たり実績医療費<sup>9</sup>

二次医療圏	医療費総計 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数
全国	327	(42)	1.000	126	(29)	1.000	177	(17)	1.000
長崎県	388	64	1.167	176	67	1.372	188	56	1.046
長崎	424	73	1.251	186	71	1.421	210	69	1.150
佐世保県北	373	61	1.114	170	65	1.316	181	52	0.997
県央	389	65	1.165	186	71	1.440	179	51	0.993
県南	349	55	1.111	158	61	1.303	169	45	1.000
五島	335	52	0.982	153	59	1.153	165	43	0.896
上五島	367	59	1.029	173	66	1.242	172	47	0.897
舌岐	367	59	1.137	174	66	1.393	174	48	1.001
対馬	330	51	1.008	157	61	1.232	154	36	0.872
出典	平成26年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

# ながさき 42-1. 長崎医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [長崎市](#) [西海市](#) [長与町](#) [時津町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (長崎医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 長崎(長崎市)は、総人口約531千人(2015年推計)、面積698km<sup>2</sup>、人口密度は761人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 長崎の総人口は2025年に491千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に418千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の78千人が、2025年にかけて96千人へと増加し(2015年比+23%)、2040年には102千人へと増加する(2025年比+6%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 長崎の一人当たり医療費(国保)は415千円(偏差値73)、介護給付費は296千円(偏差値61)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 長崎の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.34、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は2.15で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が66(病院医師数64、診療所医師数67)と、総医師数、診療所医師数ともに非常に多く、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は71と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は60で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。長崎には、年間全身麻酔件数が2000例以上の長崎大学病院(I群・救命)、1000例以上の長崎みなとメディカルセンター市民病院(III群)、済生会長崎病院(III群)、長崎原爆病院(III群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値75と非常に多く、回復期病床数は偏差値64と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は71で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は73で診療所数は非常に多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 長崎の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7161人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が4253床(偏差値46)、高齢者住宅等が2908床(偏差値48)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6183人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム41、軽費ホーム49、グループホーム61、サ高住52である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値76と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値59と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値53とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、1393人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-34%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

長崎医療圏の総人口は、2005年560668人が、2015年に531309人と5%減少し、2025年の人口が491367人と予測され、2005年→2025年の間に12%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に7%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

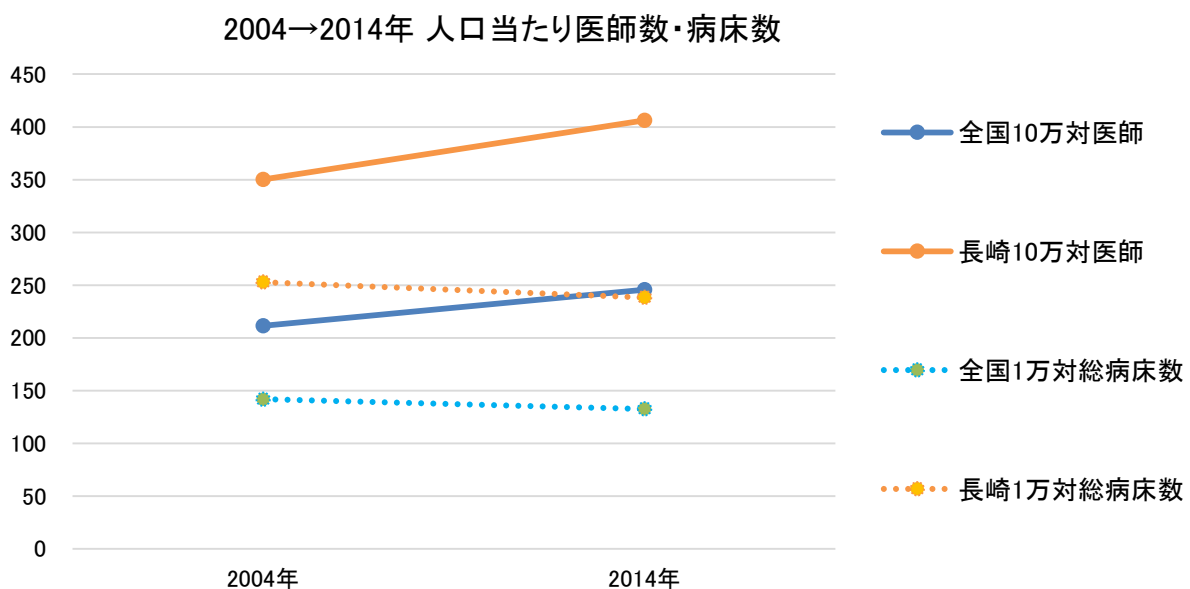
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が62(人口10万人当たり11.1病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2014年に56(人口10万人当たり10.5病院(全国平均6.7)偏差値59)となり、10年間で6病院が減少した。

2004年の診療所数が676(人口10万人当たり121診療所(全国平均76)偏差値72)であったが、2014年に655(人口10万人当たり123診療所(全国平均79)偏差値73)と、21診療所が減少した。

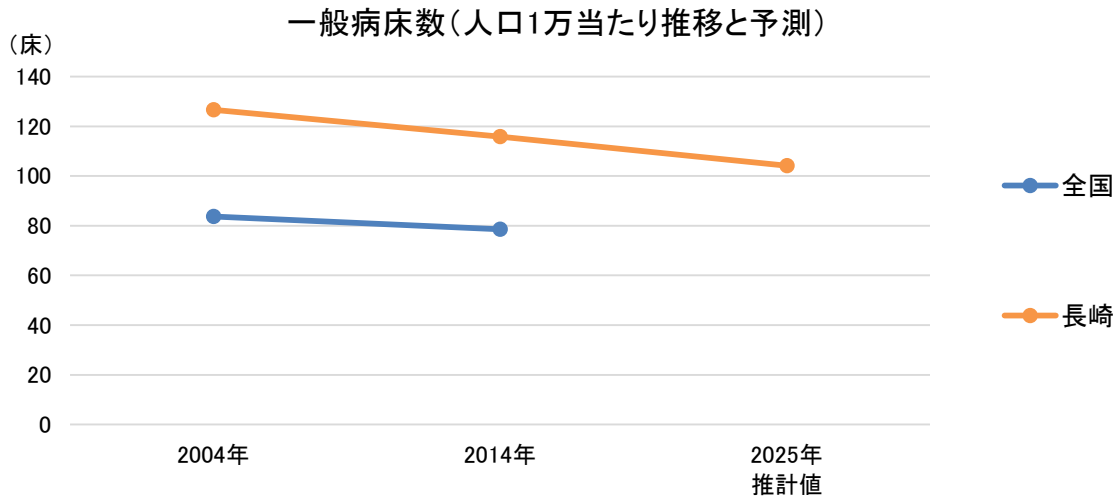
2004年の総病床数が14176床(人口1万人当たり253(全国平均142)偏差値70)であったが、2014年に12667床(人口1万人当たり238(全国平均133)偏差値69)と、1509床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が1964人(人口10万人当たり350人(全国平均212人)偏差値67)であったが、2014年に2159人(人口10万人当たり406人(全国平均246人)偏差値66)と、195人の増加、率にして10%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



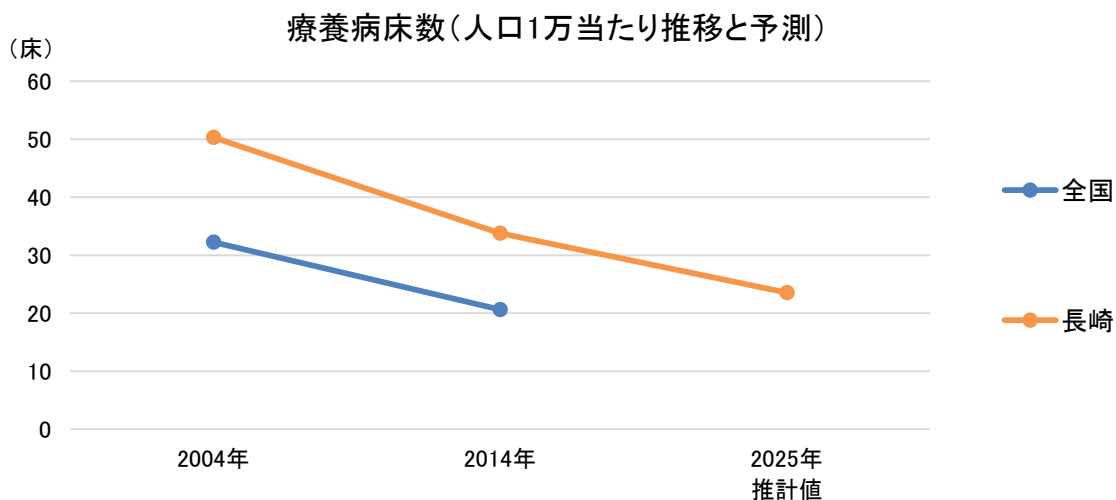
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が7101床(人口1万人当たり127(全国平均84)偏差値65)であったが、2014年に6156床(人口1万人当たり116(全国平均79)偏差値64)と、945床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には5117床(2025年の推計人口1万人当たり104)になることが予想される。



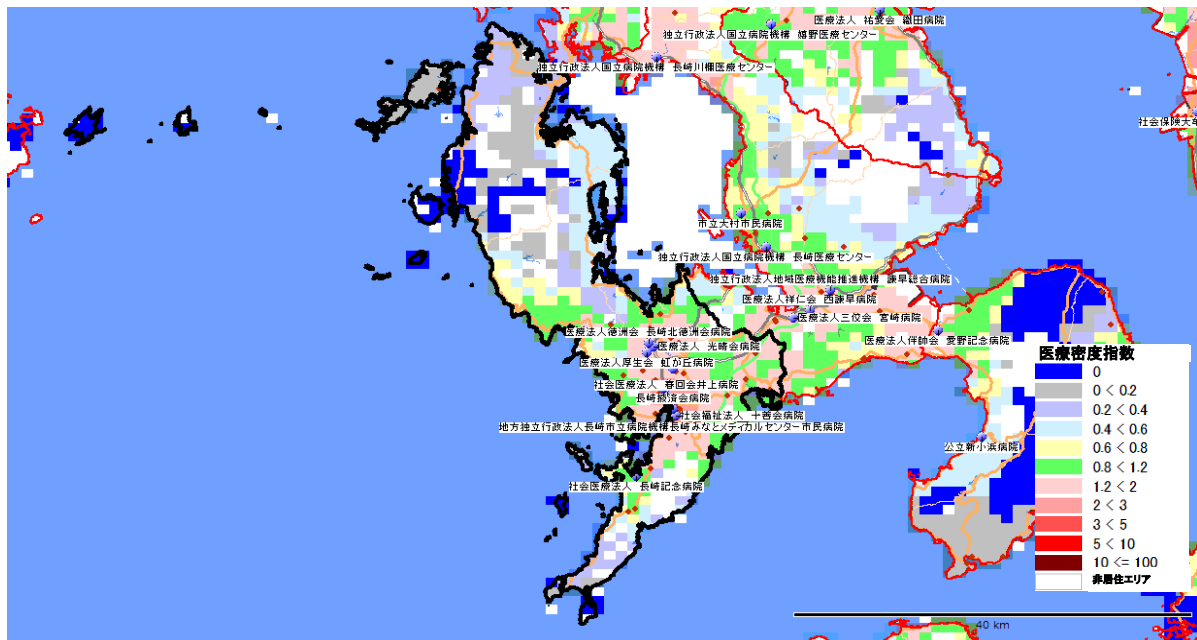
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3001床(75歳以上1000人当たり50(全国平均32)偏差値60)であったが、2014年に2647床(75歳以上1000人当たり34(全国平均21)偏差値61)と、354床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2258床(2025年の推計75歳以上1000人当たり24)になることが予想される。

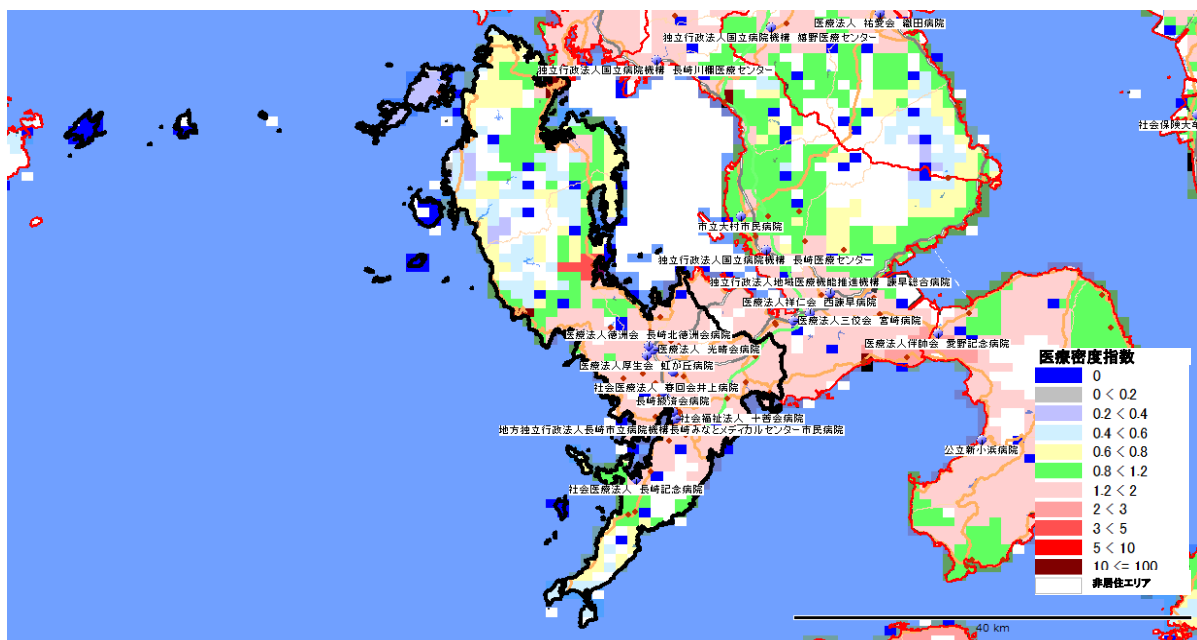


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表42-1-1 急性期医療密度指数マップ



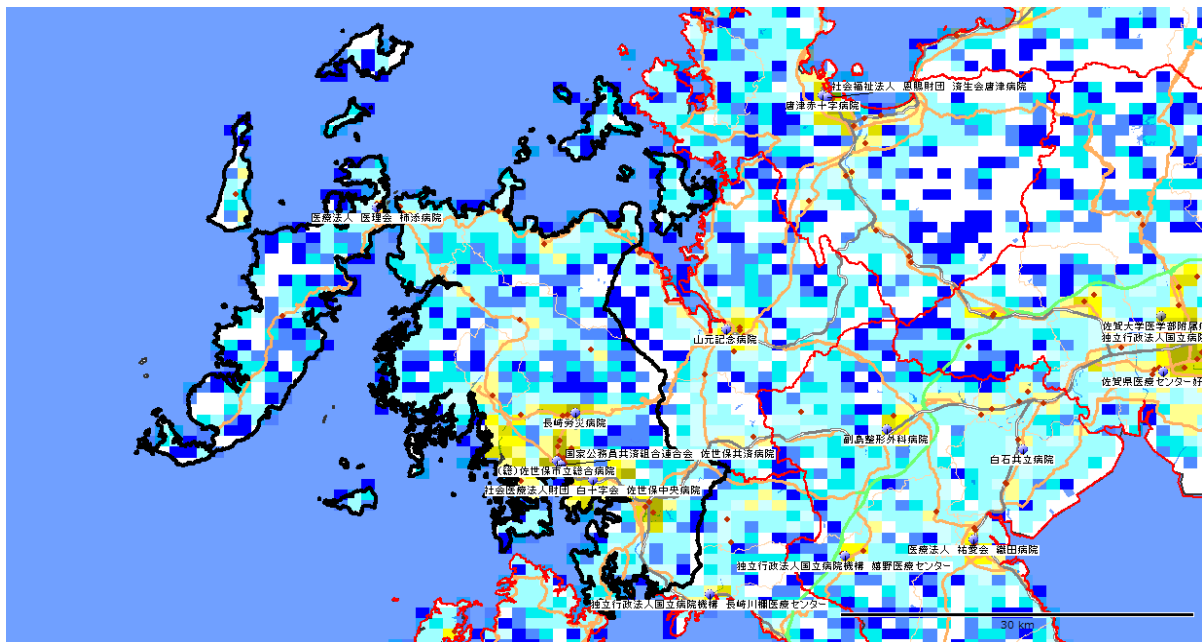
図表42-1-2 慢性期医療密度指数マップ



# 42-2. さ せ ぼ け ん ほ く 佐世保県北医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [佐世保市](#) [平戸市](#) [松浦市](#) [佐々町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (佐世保県北医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 佐世保県北(佐世保市)は、総人口約320千人(2015年推計)、面積825km<sup>2</sup>、人口密度は388人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 佐世保県北の総人口は2025年に290千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に241千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の51千人が、2025年にかけて59千人へと増加し(2015年比+16%)、2040年には57千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 佐世保県北の一人当たり医療費(国保)は361千円(偏差値60)、介護給付費は292千円(偏差値60)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 佐世保県北の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.14、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.6で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が49(病院医師数49、診療所医師数49)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は65と多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は57で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は54とやや多い。佐世保県北には、年間全身麻酔件数が1000例以上の佐世保市立総合病院(Ⅲ群・救命)、佐世保共済病院(Ⅲ群)、長崎労災病院(Ⅲ群)、500例以上の佐世保中央病院(Ⅲ群)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は63と療養病床数は多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値56と多く、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は59で精神病床数は多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は54で診療所数はやや多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 佐世保県北の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6315人(75歳以上1000人当たりの偏差値64)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が3292床(偏差値54)、高齢者住宅等が3023床(偏差値63)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4624人(75歳以上1000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設62、有料老人ホーム49、軽費ホーム79、グループホーム72、サ高住54である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値36と少ない。介護職員(在宅)の合計は、454人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+14%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。



## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

佐世保県北医療圏の総人口は、2005年348653人が、2015年に319956人と8%減少し、2025年の人口が289589人と予測され、2005年→2025年の間に17%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

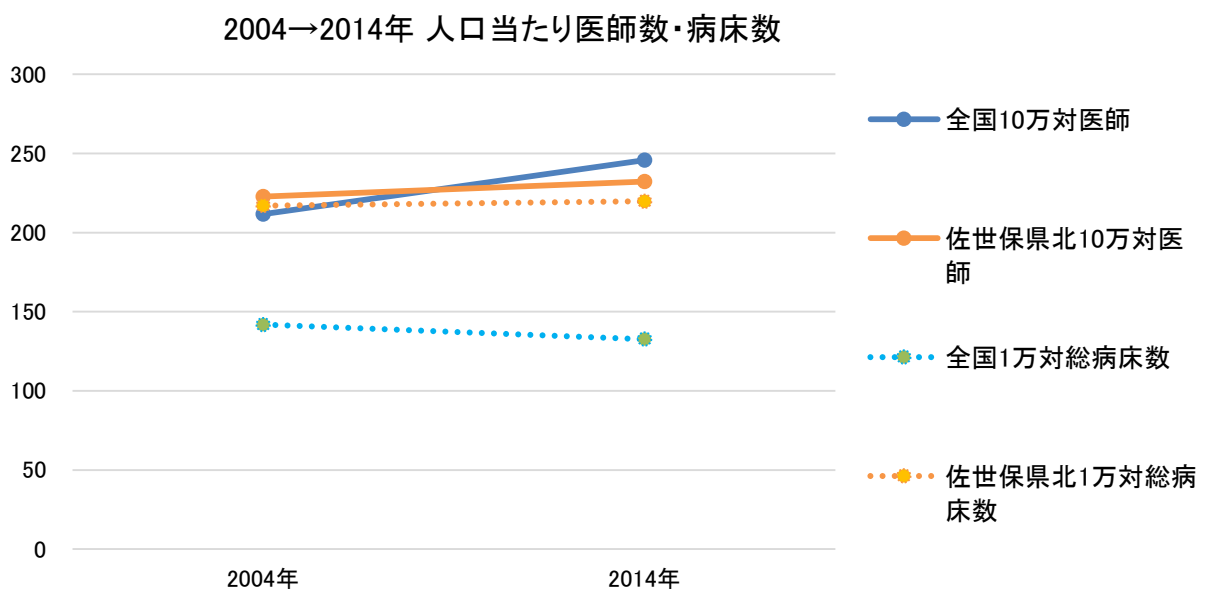
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が41(人口10万人当たり11.8病院(全国平均7.1)偏差値62)であったが、2014年に38(人口10万人当たり11.9病院(全国平均6.7)偏差値63)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が303(人口10万人当たり87診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2014年に278(人口10万人当たり87診療所(全国平均79)偏差値54)と、25診療所が減少した。

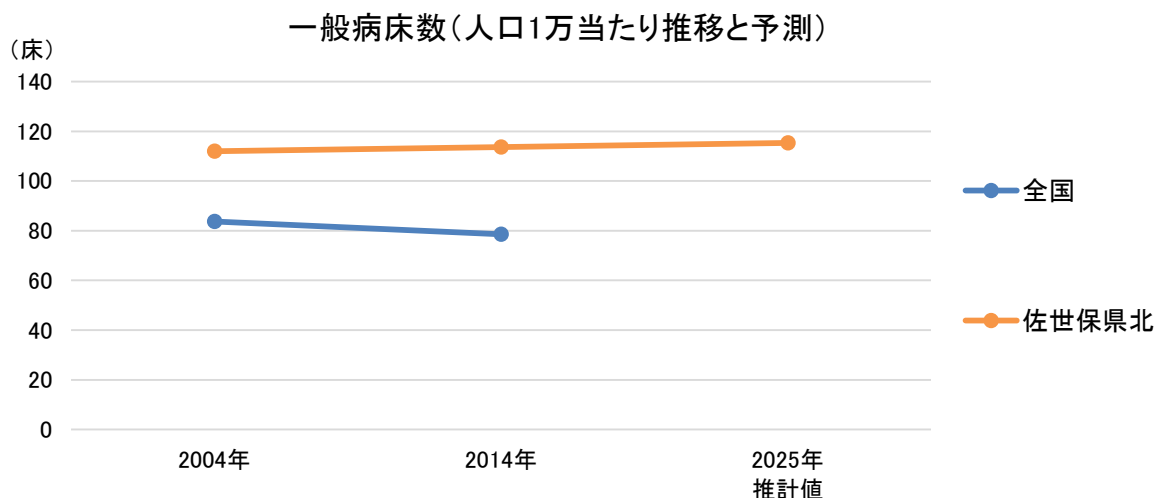
2004年の総病床数が7567床(人口1万人当たり217(全国平均142)偏差値63)であったが、2014年に7031床(人口1万人当たり220(全国平均133)偏差値65)と、536床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が777人(人口10万人当たり223人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2014年に743人(人口10万人当たり232人(全国平均246人)偏差値49)と、34人の減少、率にして4%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



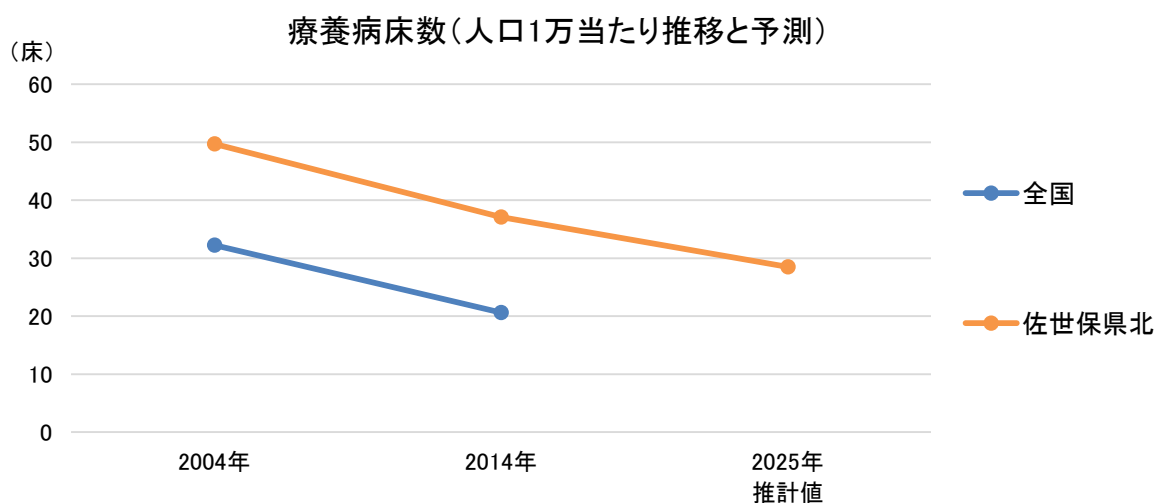
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3904床(人口1万人当たり112(全国平均84)偏差値60)であったが、2014年に3635床(人口1万人当たり114(全国平均79)偏差値63)と、269床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3339床(2025年の推計人口1万人当たり115)になることが予想される。



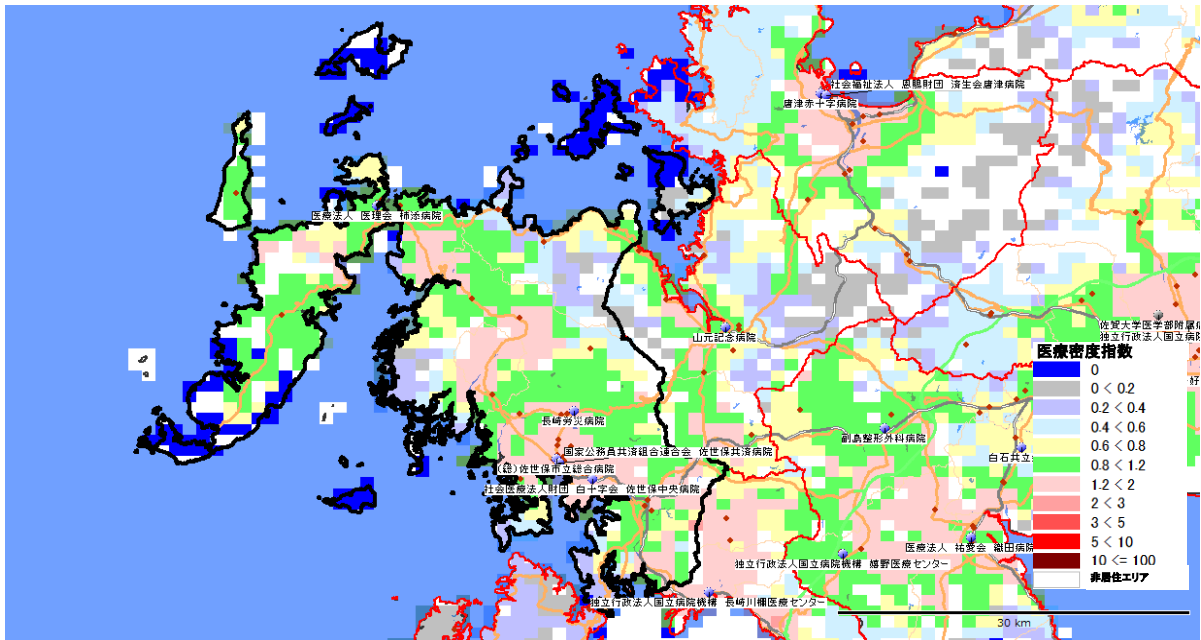
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2095床(75歳以上1000人当たり50(全国平均32)偏差値60)であったが、2014年に1898床(75歳以上1000人当たり37(全国平均21)偏差値64)と、197床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1681床(2025年の推計75歳以上1000人当たり29)になることが予想される。

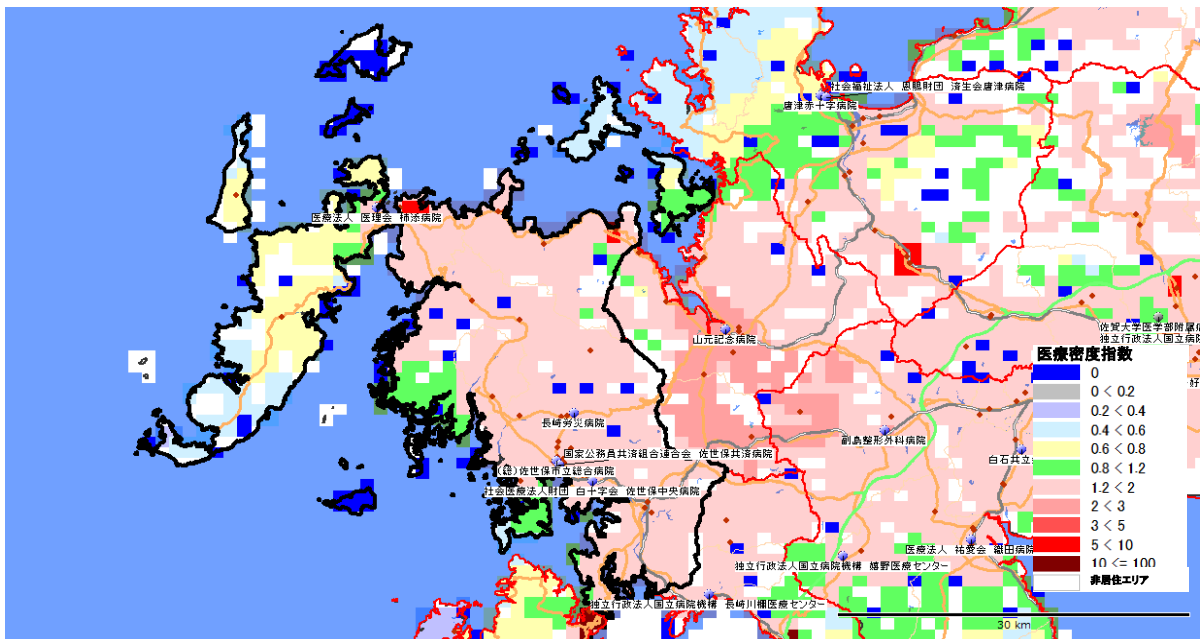


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表42-2-1 急性期医療密度指数マップ



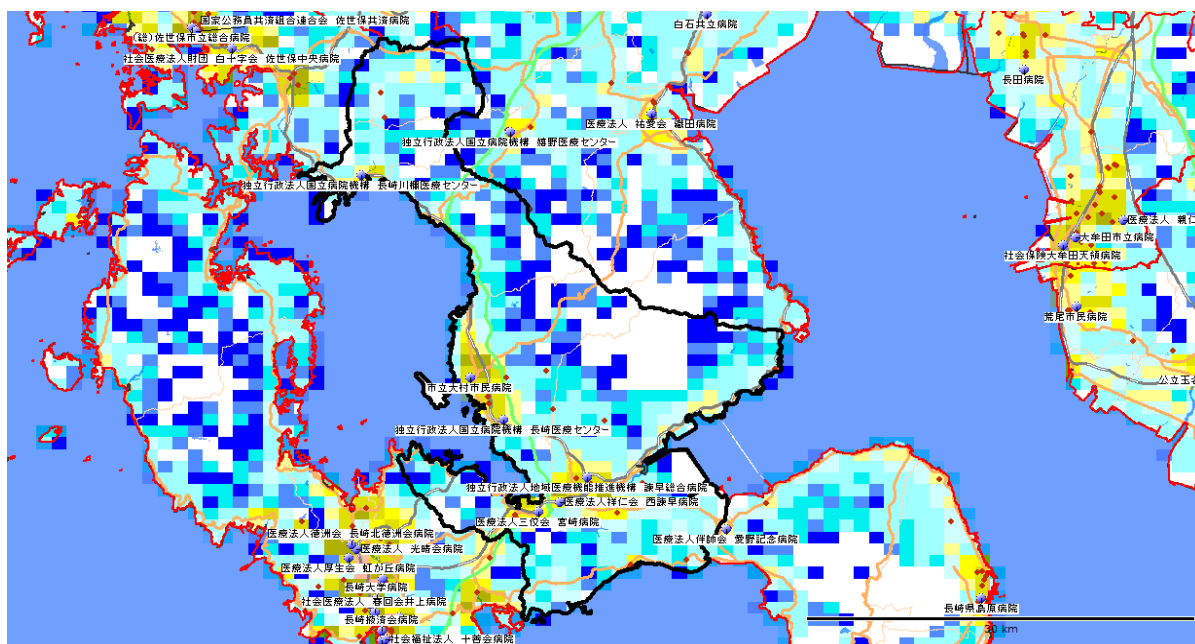
図表42-2-2 慢性期医療密度指数マップ



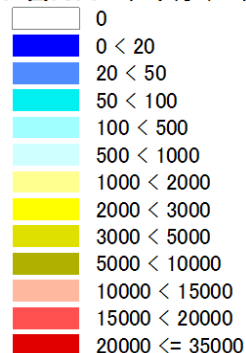
# 42-3. けんおう 県央医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [諫早市](#) [大村市](#) [東彼杵町](#) [川棚町](#)  
[波佐見町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群  
一般病院

## (県央医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 県央(諫早市)は、総人口約266千人(2015年推計)、面積615km<sup>2</sup>、人口密度は432人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 県央の総人口は2025年に253千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に225千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の36千人が、2025年にかけて46千人へと増加し(2015年比+28%)、2040年には51千人へと増加する(2025年比+11%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 県央の一人当たり医療費(国保)は385千円(偏差値66)、介護給付費は250千円(偏差値49)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 県央の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.07、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は2.2で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が56(病院医師数56、診療所医師数54)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は69と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は63で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。県央には、年間全身麻酔件数が2000例以上の国立病院機構長崎医療センター(Ⅱ群・救命)、1000例以上のJCHO諫早総合病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は57と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値60と多く、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は69で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は59で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 県央の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3102人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1686床(偏差値40)、高齢者住宅等が1416床(偏差値50)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2678人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設45、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム37、軽費ホーム50、グループホーム66、サ高住56である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値82と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、446人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-68%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

県央医療圏の総人口は、2005年272256人が、2015年に265818人と2%減少し、2025年の人口が252766人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

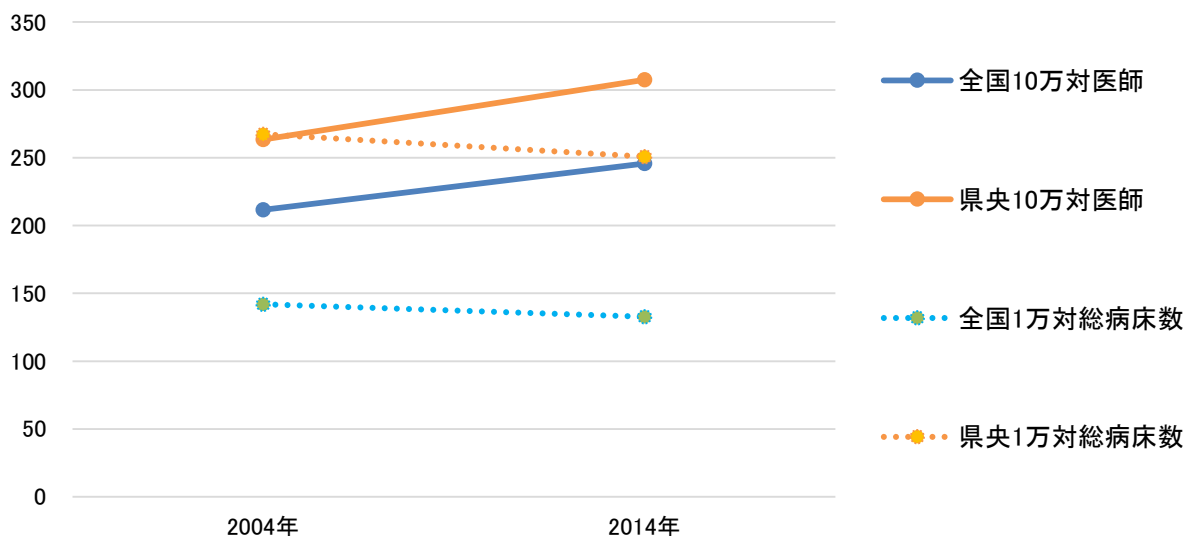
2004年の病院数が31(人口10万人当たり11.4病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2014年に31(人口10万人当たり11.7病院(全国平均6.7)偏差値62)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が251(人口10万人当たり92診療所(全国平均76)偏差値58)であったが、2014年に255(人口10万人当たり96診療所(全国平均79)偏差値59)と、4診療所が増加した。

2004年の総病床数が7275床(人口1万人当たり267(全国平均142)偏差値72)であったが、2014年に6667床(人口1万人当たり251(全国平均133)偏差値71)と、608床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

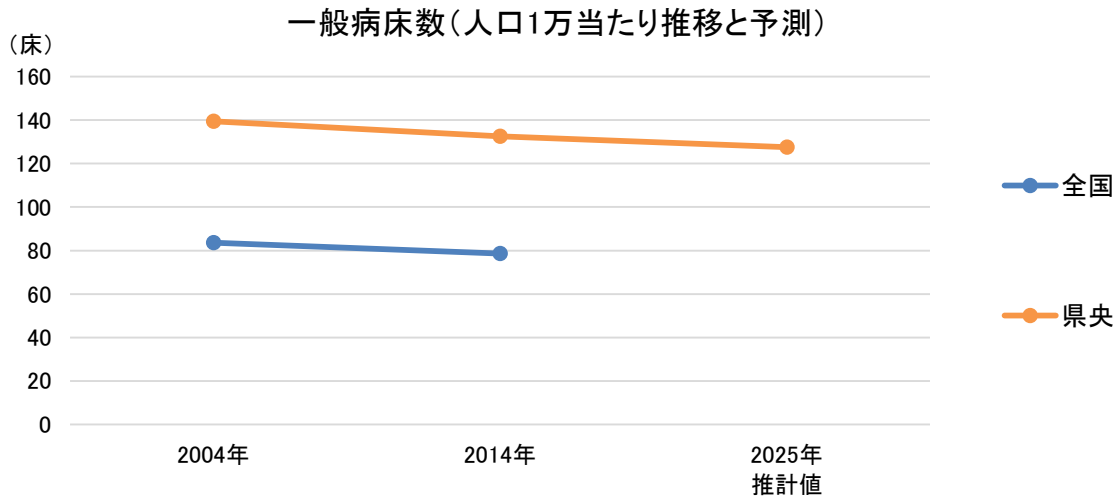
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が717人(人口10万人当たり263人(全国平均212人)偏差値56)であったが、2014年に817人(人口10万人当たり307人(全国平均246人)偏差値56)と、100人の増加、率にして14%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



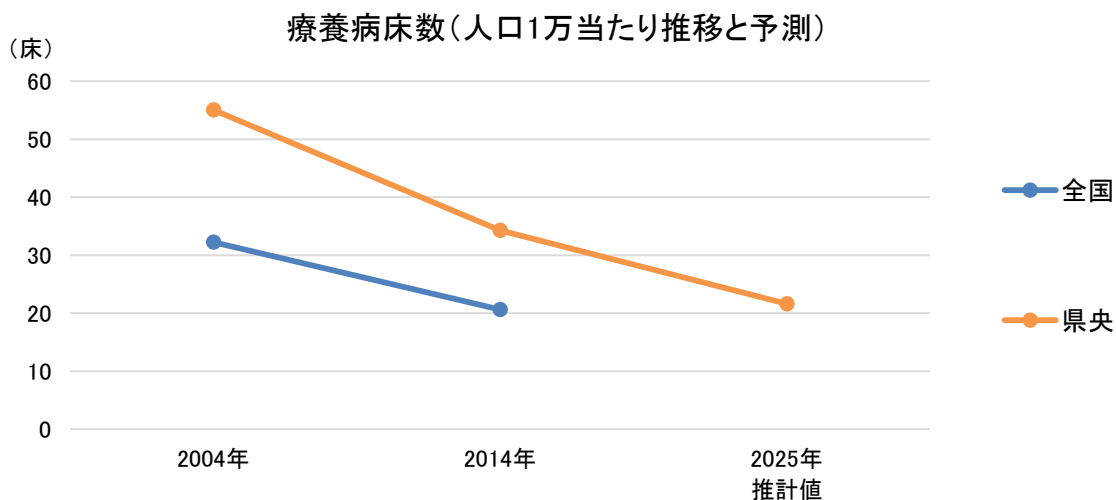
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3798床(人口1万人当たり140(全国平均84)偏差値70)であったが、2014年に3524床(人口1万人当たり133(全国平均79)偏差値70)と、274床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3223床(2025年の推計人口1万人当たり128)になることが予想される。



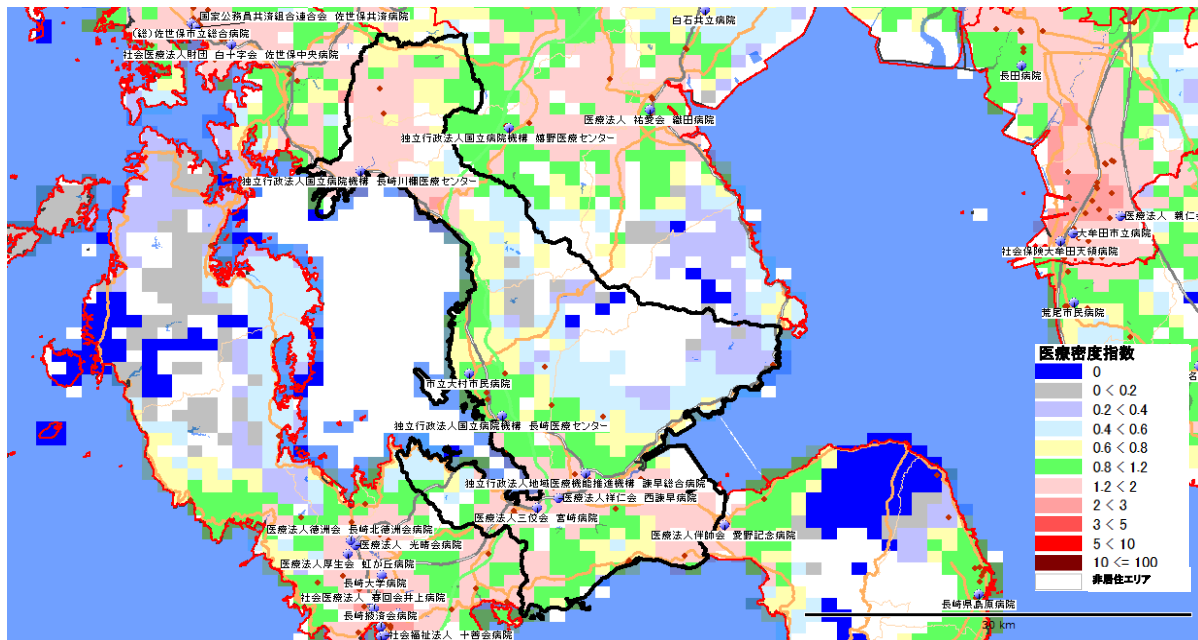
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1460床(75歳以上1000人当たり55(全国平均32)偏差値63)であったが、2014年に1233床(75歳以上1000人当たり34(全国平均21)偏差値62)と、227床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には983床(2025年の推計75歳以上1000人当たり22)になることが予想される。

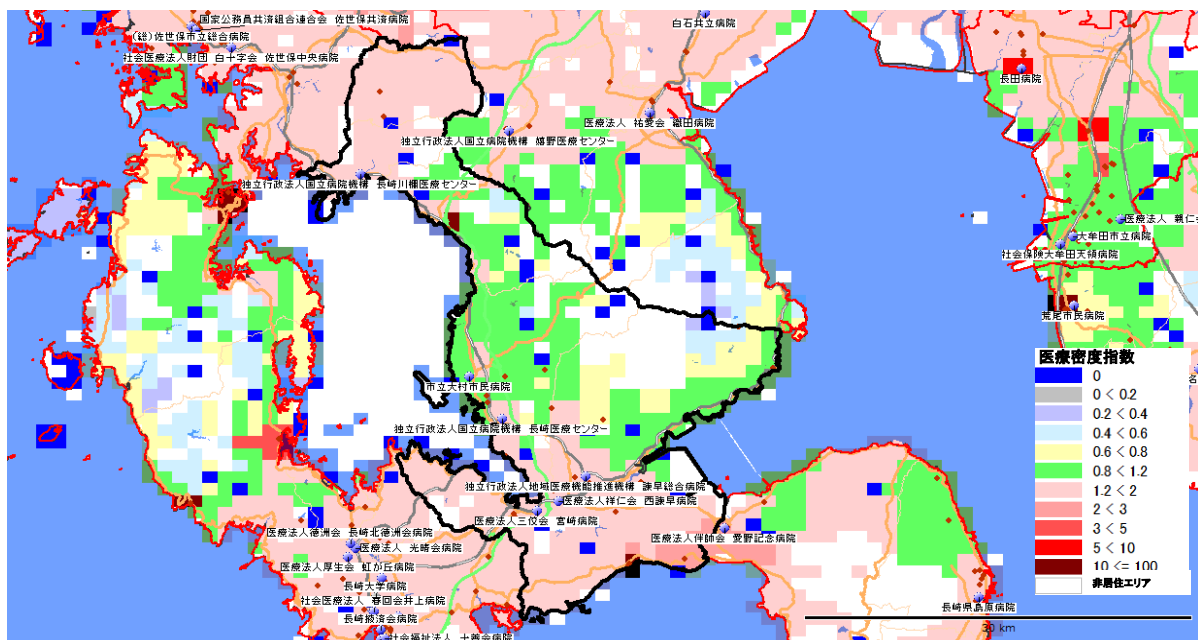


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表42-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表42-3-2 慢性期医療密度指数マップ

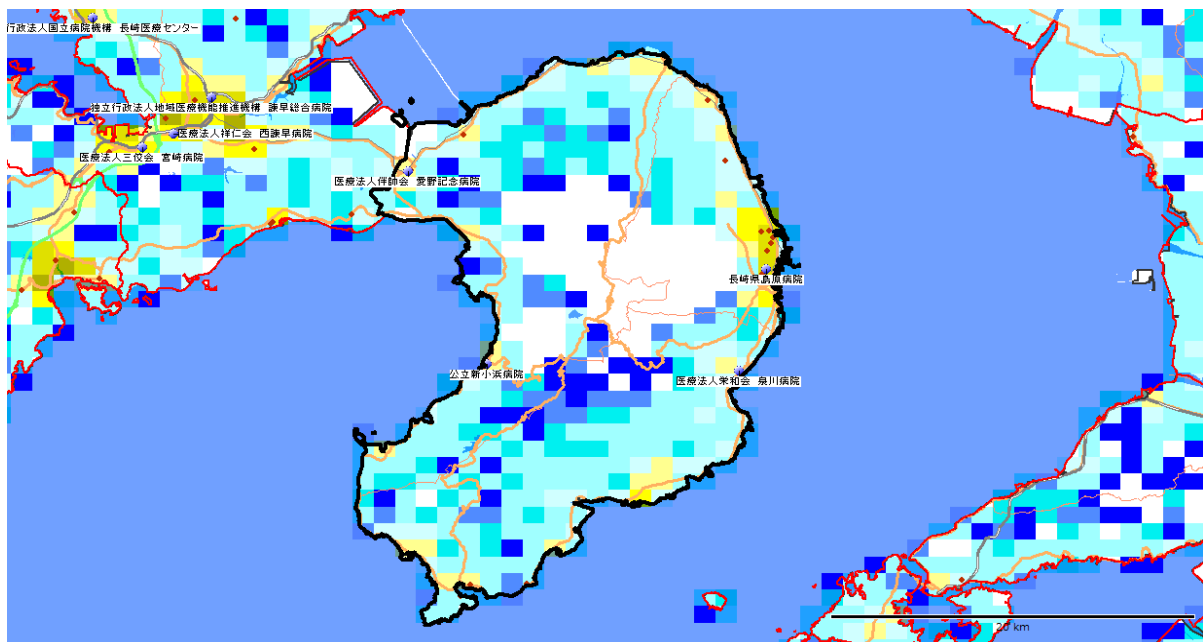




# 42-4. けんなん 県南医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [島原市](#) [雲仙市](#) [南島原市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群  
一般病院

## （県南医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 県南（島原市）は、総人口約136千人（2015年推計）、面積460km<sup>2</sup>、人口密度は297人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 県南の総人口は2025年に119千人へと減少し（2015年比-13%）、2040年に95千人へと減少する（2025年比-20%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の26千人が、2025年にかけて28千人へと増加し（2015年比+8%）、2040年には28千人とほぼ変わらない（2025年比±0%）ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 県南の一人当たり医療費（国保）は339千円（偏差値55）、介護給付費は330千円（偏差値71）であり、医療費はやや高く、介護給付費は非常に高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 県南の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.55、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.66で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療は少ない。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が44（病院医師数43、診療所医師数48）と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は62と多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。県南には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は65と療養病床数は多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値69と非常に多く、回復期病床数は偏差値57と多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は58で精神病床数は多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 県南の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、3141人（75歳以上1000人当たりの偏差値62）と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1568床（偏差値50）、高齢者住宅等が1573床（偏差値64）である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、2356人（75歳以上1000人当たりの偏差値61）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設55、有料老人ホーム41、軽費ホーム67、グループホーム95、サ高住51である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値57と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員（在宅）の合計は、151人（75歳以上1000人当たりの偏差値36）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+19%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

県南医療圏の総人口は、2005年154088人が、2015年に136341人と12%減少し、2025年の人口が119325人と予測され、2005年→2025年の間に23%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて4%程度の減少が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

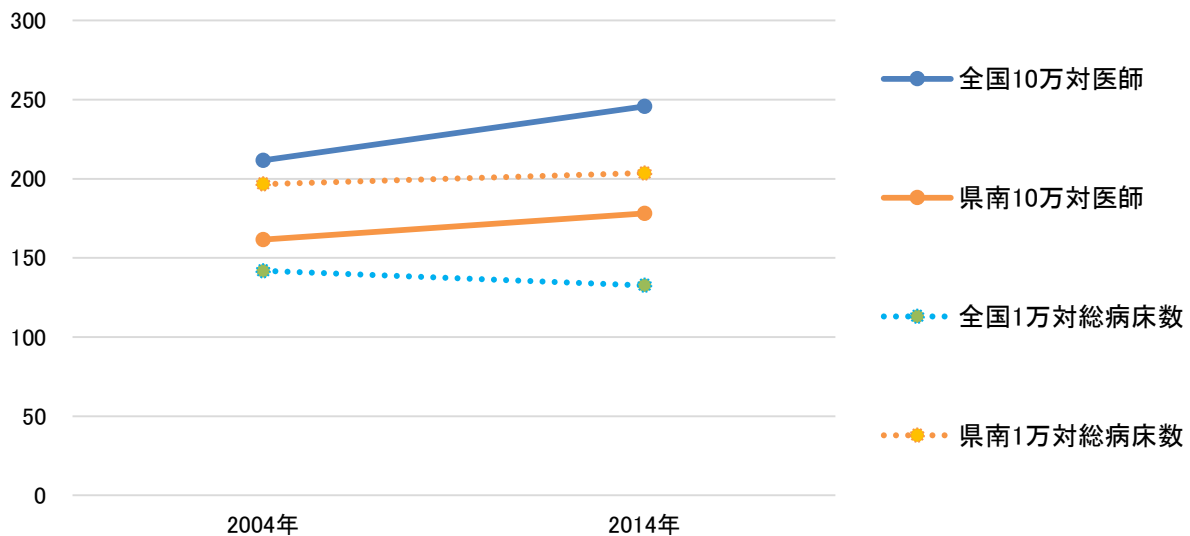
2004年の病院数が17(人口10万人当たり11病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2014年に17(人口10万人当たり12.5病院(全国平均6.7)偏差値64)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が105(人口10万人当たり68診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2014年に109(人口10万人当たり80診療所(全国平均79)偏差値50)と、4診療所が増加した。

2004年の総病床数が3030床(人口1万人当たり197(全国平均142)偏差値60)であったが、2014年に2776床(人口1万人当たり204(全国平均133)偏差値63)と、254床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

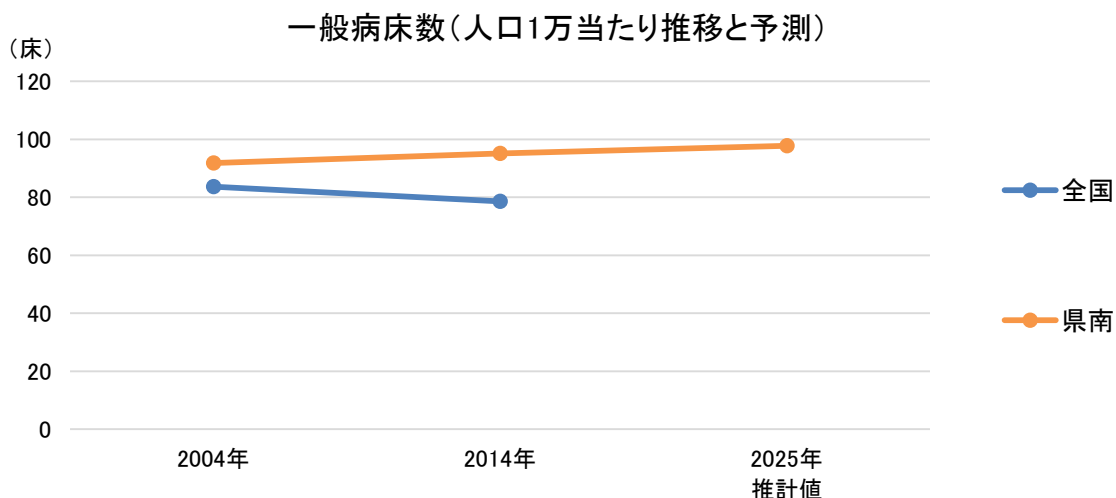
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が249人(人口10万人当たり162人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に243人(人口10万人当たり178人(全国平均246人)偏差値43)と、6人の減少、率にして2%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



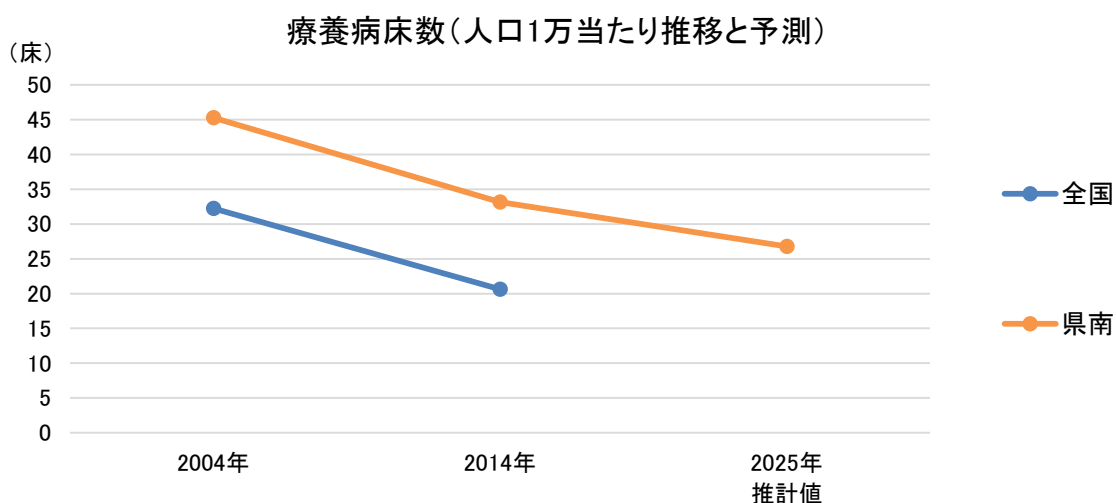
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1415床(人口1万人当たり92(全国平均84)偏差値53)であったが、2014年に1297床(人口1万人当たり95(全国平均79)偏差値56)と、118床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1167床(2025年の推計人口1万人当たり98)になることが予想される。



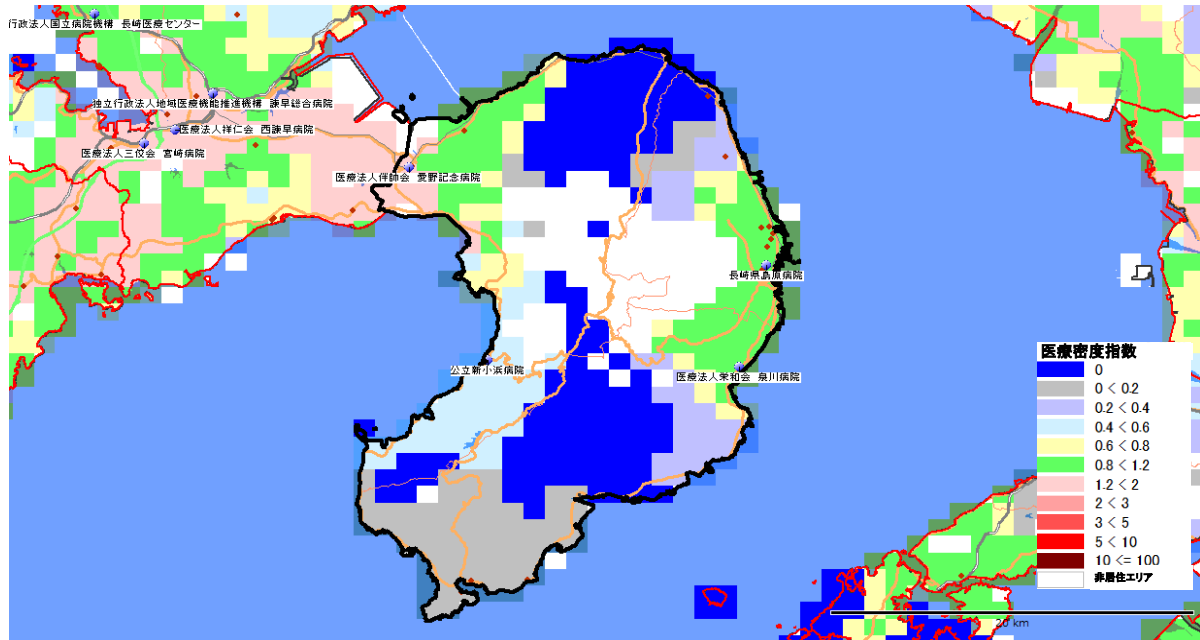
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が991床(75歳以上1000人当たり45(全国平均32)偏差値57)であったが、2014年に871床(75歳以上1000人当たり33(全国平均21)偏差値61)と、120床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には739床(2025年の推計75歳以上1000人当たり27)になることが予想される。

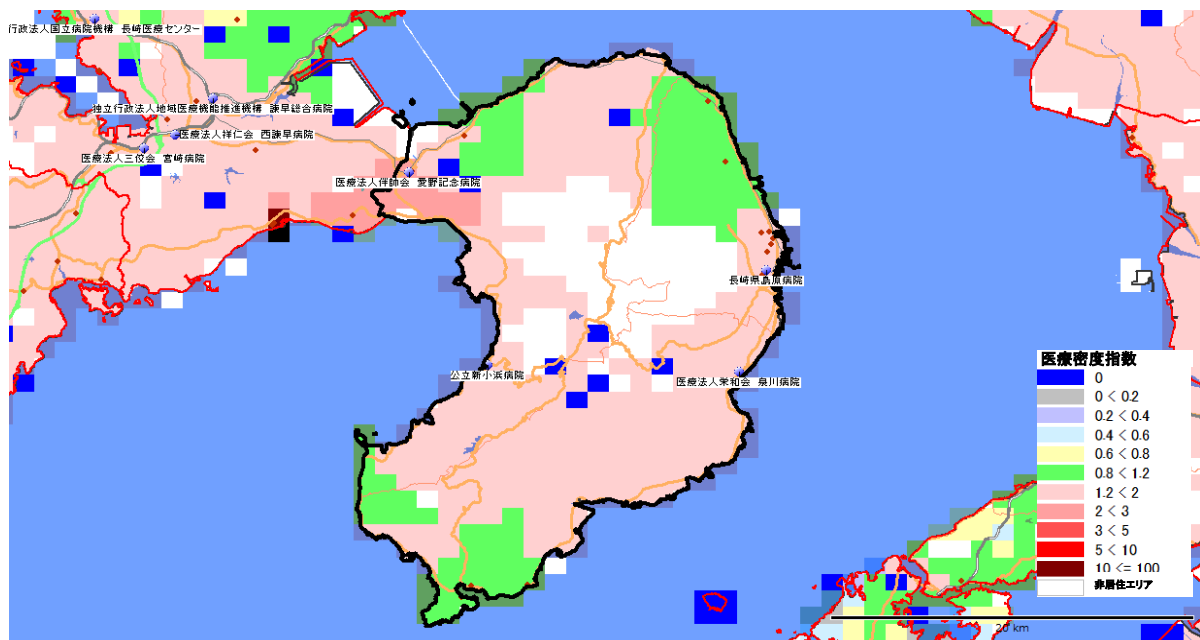


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表42-4-1 急性期医療密度指数マップ



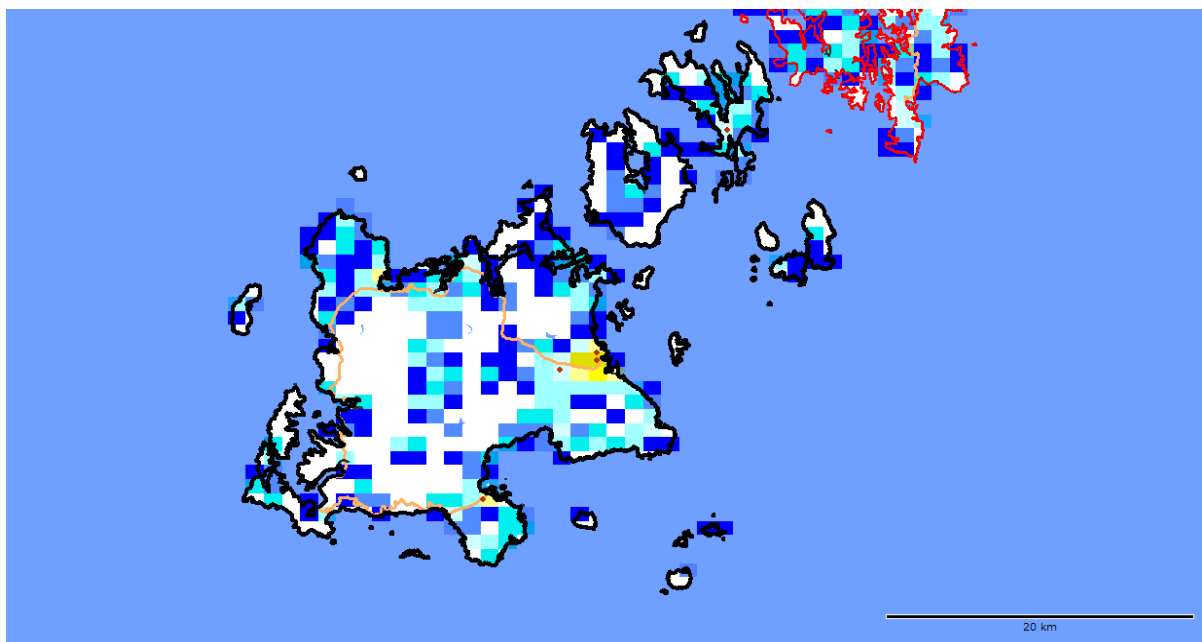
図表42-4-2 慢性期医療密度指数マップ



# 42-5. ごとう 五島医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [五島市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (五島医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 五島(五島市)は、総人口約37千人(2015年推計)、面積421km<sup>2</sup>、人口密度は88人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 五島の総人口は2025年に31千人へと減少し(2015年比-16%)、2040年に22千人へと減少する(2025年比-29%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の8千人が、2025年にかけて8千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には8千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 五島の一人当たり医療費(国保)は320千円(偏差値50)、介護給付費は366千円(偏差値80)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は非常に高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 五島の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.04、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.06で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が46(病院医師数45、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は56と多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は64で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は37と少ない。五島には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値39と少なく、回復期病床数は0である。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は68で診療所数は非常に多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 五島の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、910人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が546床(偏差値56)、高齢者住宅等が364床(偏差値53)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、806人(75歳以上1000人当たりの偏差値69)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム59、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム99、サ高住39である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値36と少なく、在宅療養支援病院は偏差値58と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値52と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、142人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+27%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

五島医療圏の総人口は、2005年44765人が、2015年に37007人と17%減少し、2025年の人口が30529人と予測され、2005年→2025年の間に32%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に6%減少し、2015年から2025年にかけて8%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

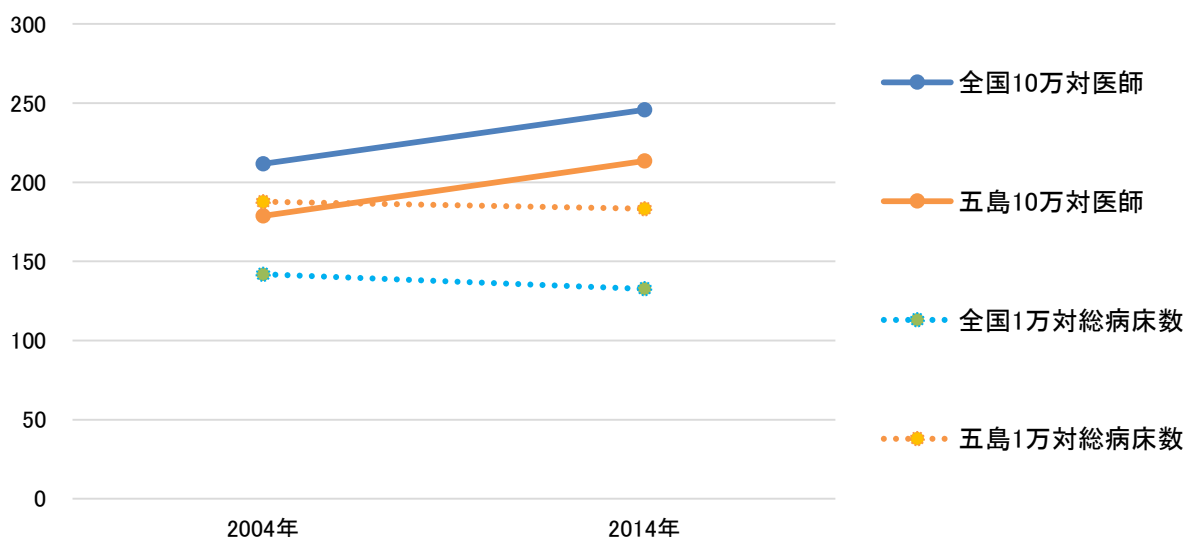
2004年の病院数が5(人口10万人当たり11.2病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2014年に4(人口10万人当たり10.8病院(全国平均6.7)偏差値60)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が45(人口10万人当たり101診療所(全国平均76)偏差値62)であったが、2014年に42(人口10万人当たり113診療所(全国平均79)偏差値68)と、3診療所が減少した。

2004年の総病床数が840床(人口1万人当たり188(全国平均142)偏差値58)であったが、2014年に678床(人口1万人当たり183(全国平均133)偏差値59)と、162床の減少、率にして19%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が80人(人口10万人当たり179人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に79人(人口10万人当たり213人(全国平均246人)偏差値47)と、1人の減少、率にして1%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

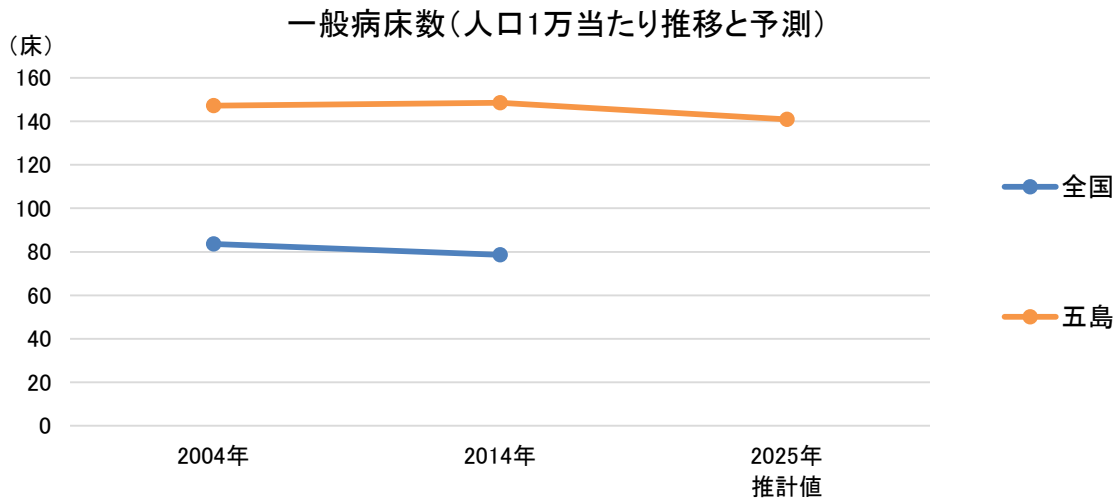
2004→2014年 人口当たり医師数・病床数





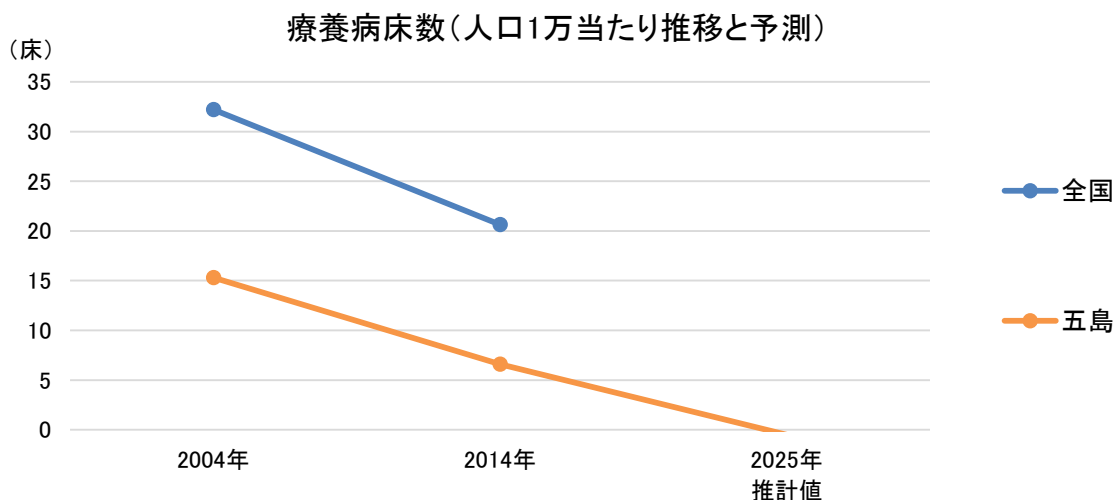
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が659床(人口1万人当たり147(全国平均84)偏差値73)であったが、2014年に550床(人口1万人当たり149(全国平均79)偏差値76)と、109床の減少、率にして17%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には430床(2025年の推計人口1万人当たり141)になることが予想される。



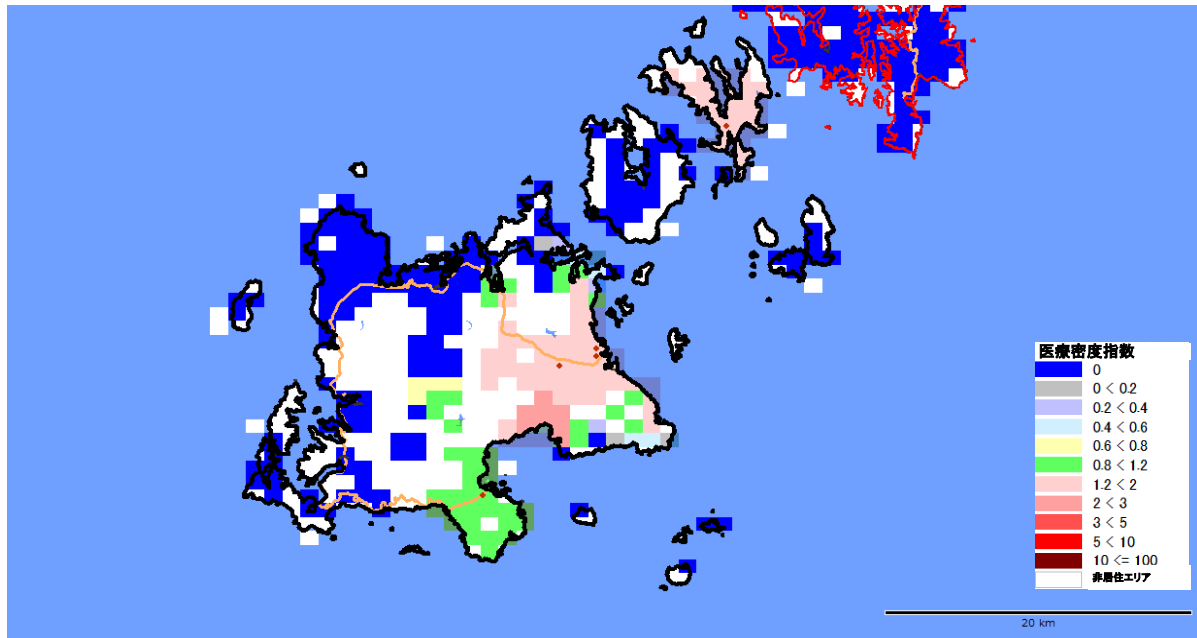
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が107床(75歳以上1000人当たり15(全国平均32)偏差値40)であったが、2014年に54床(75歳以上1000人当たり7(全国平均21)偏差値38)と、53床の減少、率にして50%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には-4床(2025年の推計75歳以上1000人当たり0)になることが予想される。

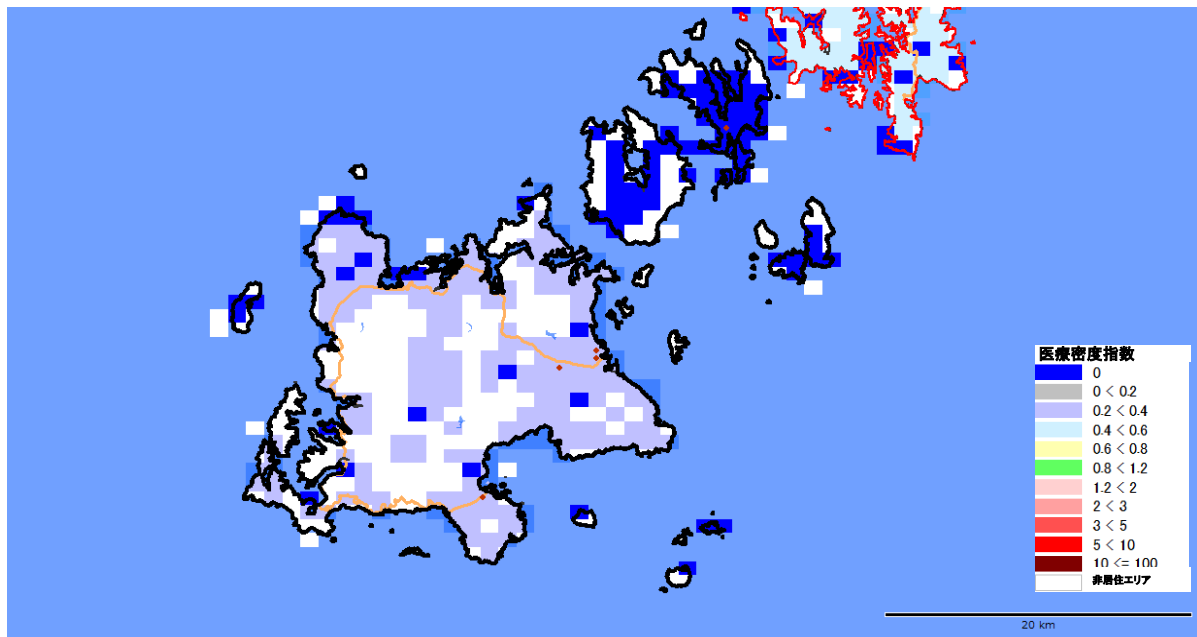


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表42-5-1 急性期医療密度指数マップ



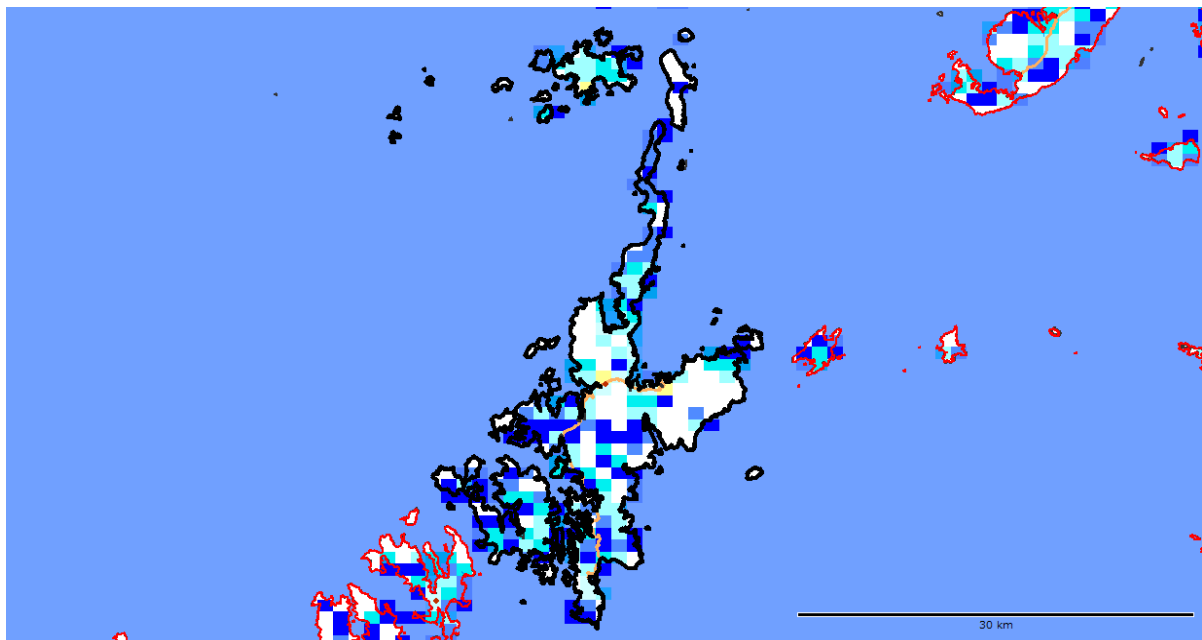
図表42-5-2 慢性期医療密度指数マップ



# 42-6. かみごとう 上五島医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [小値賀町](#) [新上五島町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## （上五島医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 上五島（北松浦郡小値賀町、南松浦郡新上五島町）は、総人口約22千人（2015年推計）、面積239km<sup>2</sup>、人口密度は92人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 上五島の総人口は2025年に17千人へと減少し（2015年比-23%）、2040年に12千人へと減少する（2025年比-29%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の5千人が、2025年にかけて5千人とほぼ変わらず（2015年比±0%）、2040年には4千人へと減少する（2025年比-20%）ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 上五島の一人当たり医療費（国保）は358千円（偏差値59）、介護給付費は333千円（偏差値71）であり、医療費は高く、介護給付費は非常に高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 上五島の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.51、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は2.75で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が42（病院医師数42、診療所医師数44）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は46とやや少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は35と少ない。上五島には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値40と少なく、回復期病床数は0である。

**\*精神病床の現状：** 精神病床数は0である。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は63で診療所数は多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 上五島の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、543人（75歳以上1000人当たりの偏差値55）と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が395床（偏差値65）、高齢者住宅等が148床（偏差値43）である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、558人（75歳以上1000人当たりの偏差値80）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設67、特別養護老人ホーム63、介護療養型医療施設なし（偏差値40）、有料老人ホームなし（偏差値37）、軽費ホームなし（偏差値43）、グループホーム68、サ高住43である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は存在せず、在宅療養支援病院も存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値40と少ない。介護職員（在宅）の合計は、43人（75歳以上1000人当たりの偏差値41）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+32%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数では過剰である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

上五島医療圏の総人口は、2005年28307人が、2015年に22095人と22%減少し、2025年の人口が17405人と予測され、2005年→2025年の間に39%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に9%減少し、2015年から2025年にかけて11%程度の減少が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

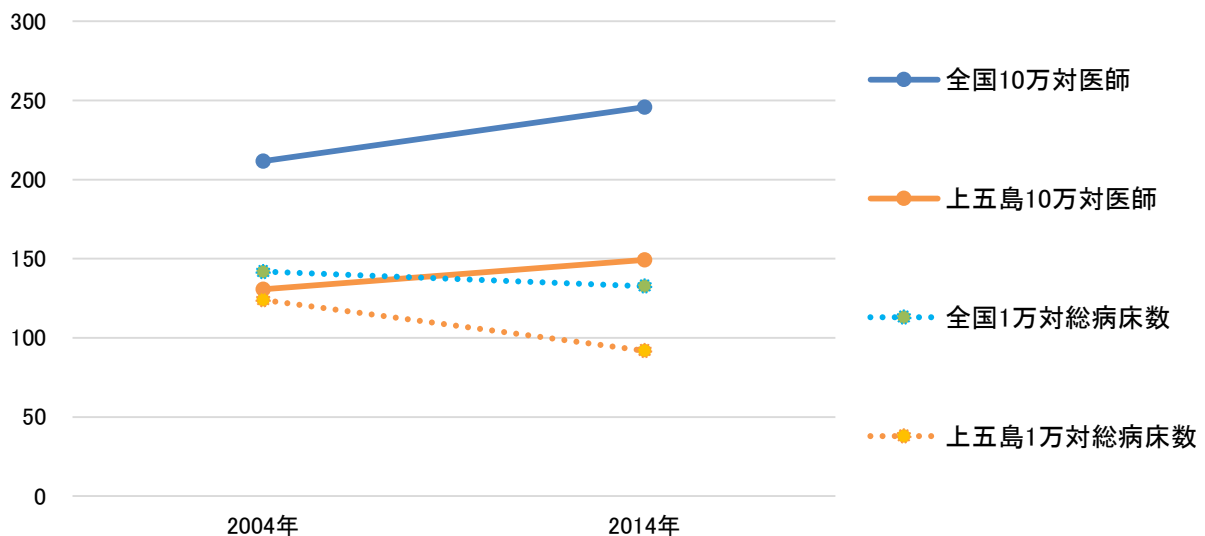
2004年の病院数が3(人口10万人当たり10.6病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2014年に1(人口10万人当たり4.5病院(全国平均6.7)偏差値45)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が22(人口10万人当たり78診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2014年に23(人口10万人当たり104診療所(全国平均79)偏差値63)と、1診療所が増加した。

2004年の総病床数が351床(人口1万人当たり124(全国平均142)偏差値47)であったが、2014年に203床(人口1万人当たり92(全国平均133)偏差値43)と、148床の減少、率にして42%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

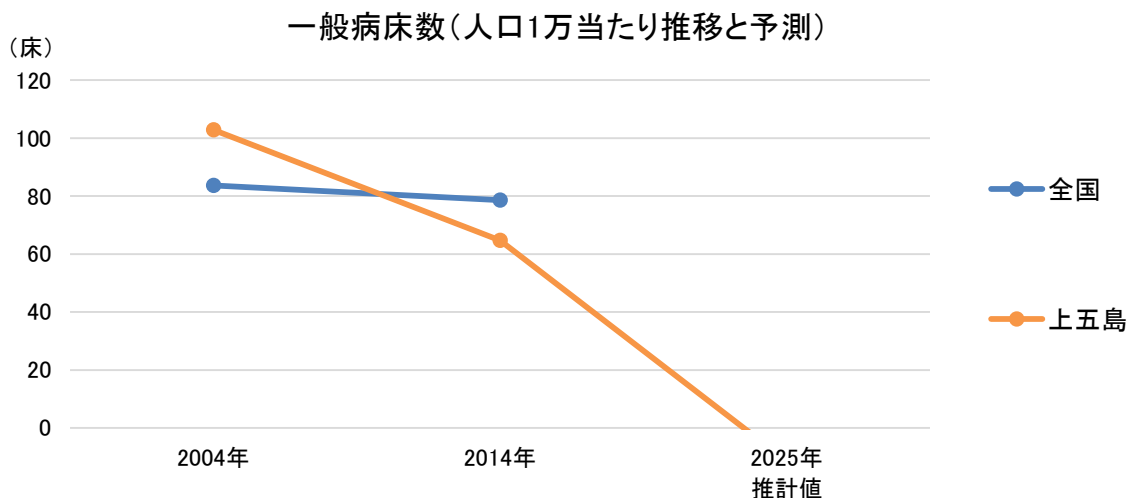
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が37人(人口10万人当たり131人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に33人(人口10万人当たり149人(全国平均246人)偏差値40)と、4人の減少、率にして11%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



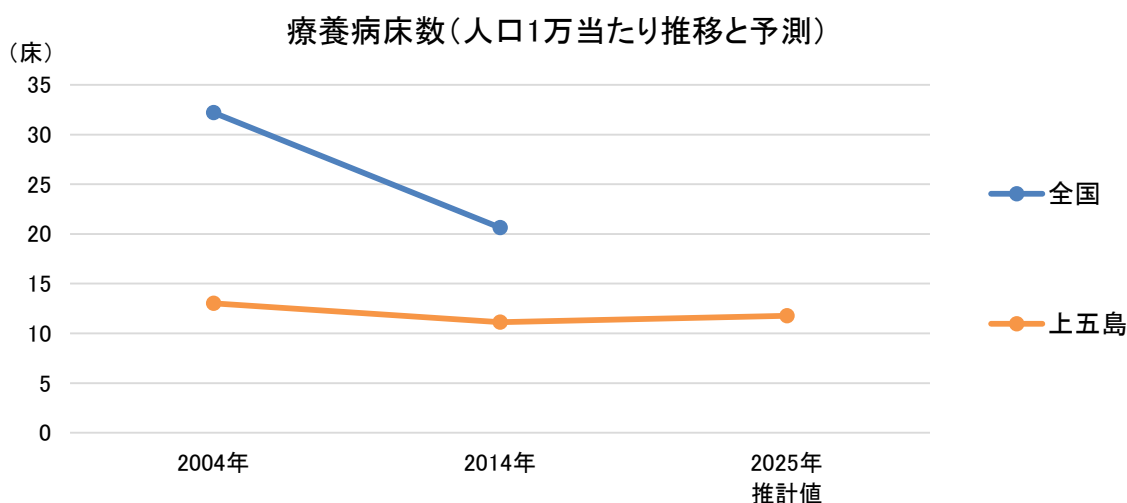
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が291床(人口1万人当たり103(全国平均84)偏差値57)であったが、2014年に143床(人口1万人当たり65(全国平均79)偏差値45)と、148床の減少、率にして51%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には-20床(2025年の推計人口1万人当たり-11)になることが予想される。



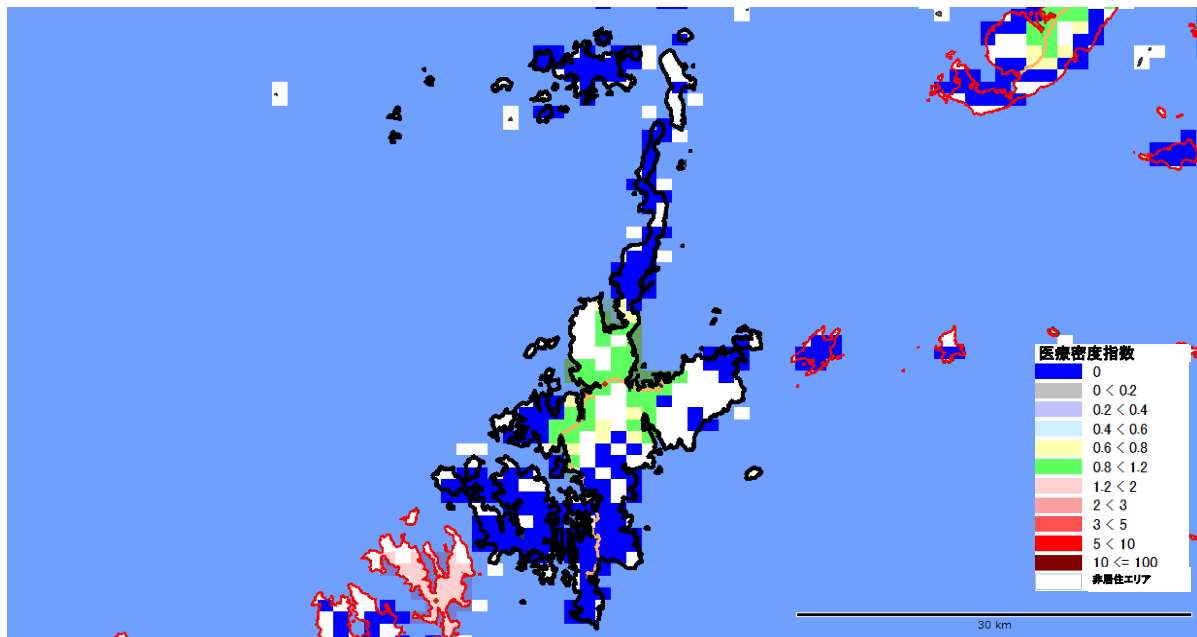
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が56床(75歳以上1000人当たり13(全国平均32)偏差値39)であったが、2014年に56床(75歳以上1000人当たり11(全国平均21)偏差値42)と、増減がなかった(全国平均9%の減少)。この調子で増減なしが続くとすると2025年には56床(2025年の推計75歳以上1000人当たり12)になることが予想される。

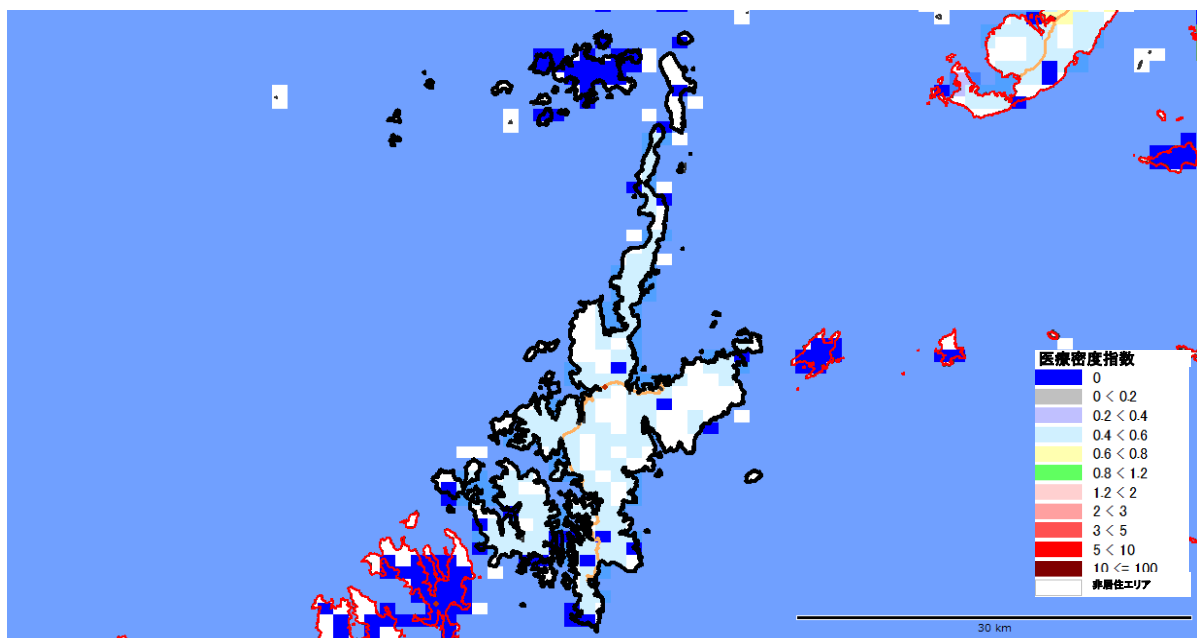


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表42-6-1 急性期医療密度指数マップ



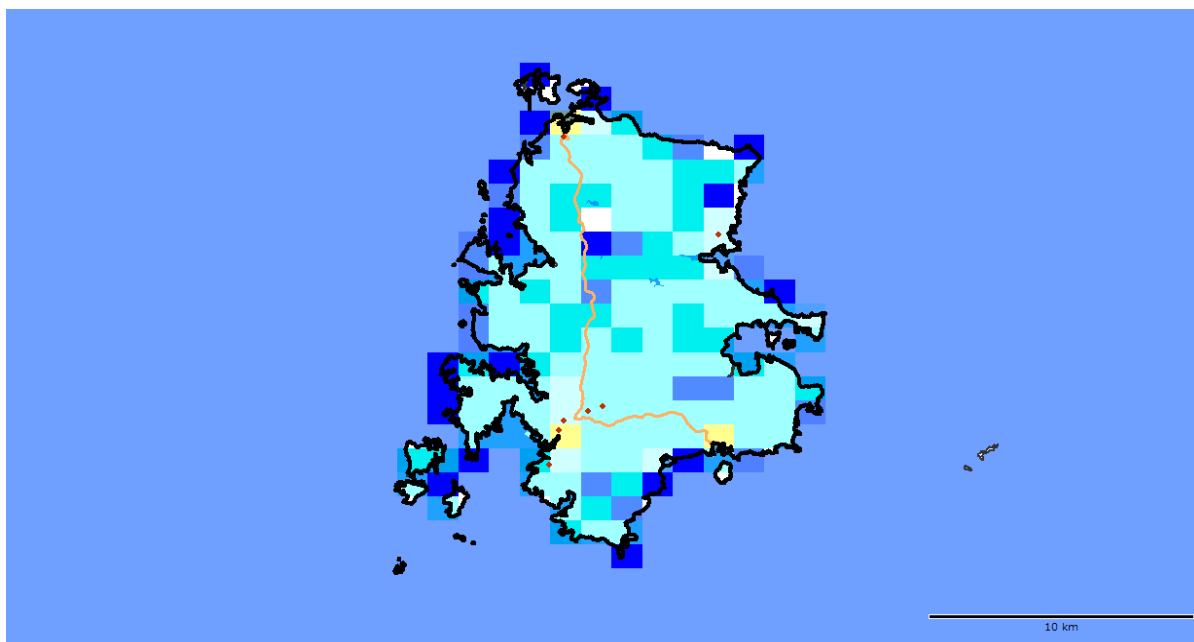
図表42-6-2 慢性期医療密度指数マップ



# 42-7. い き 壱岐医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [壱岐市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院



## (壱岐医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 壱岐(壱岐市)は、総人口約27千人(2015年推計)、面積139km<sup>2</sup>、人口密度は197人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 壱岐の総人口は2025年に24千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に19千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の5千人が、2025年にかけて6千人へと増加し(2015年比+20%)、2040年には5千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 壱岐の一人当たり医療費(国保)は359千円(偏差値60)、介護給付費は281千円(偏差値57)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 壱岐の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.81、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.82で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が45(病院医師数50、診療所医師数36)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は55とやや多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は59で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は31と非常に少ない。壱岐には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は74と療養病床数は非常に多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は0である。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 壱岐の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、378人(75歳以上1000人当たりの偏差値32)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が340床(偏差値52)、高齢者住宅等が38床(偏差値28)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、426人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設63、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設49、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム35、サ高住36である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値50と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値68と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値38と少ない。介護職員(在宅)の合計は、89人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-13%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

壱岐医療圏の総人口は、2005年31414人が、2015年に27345人と13%減少し、2025年の人口が23617人と予測され、2005年→2025年の間に25%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に4%減少し、2015年から2025年にかけて7%程度の減少が予測される。

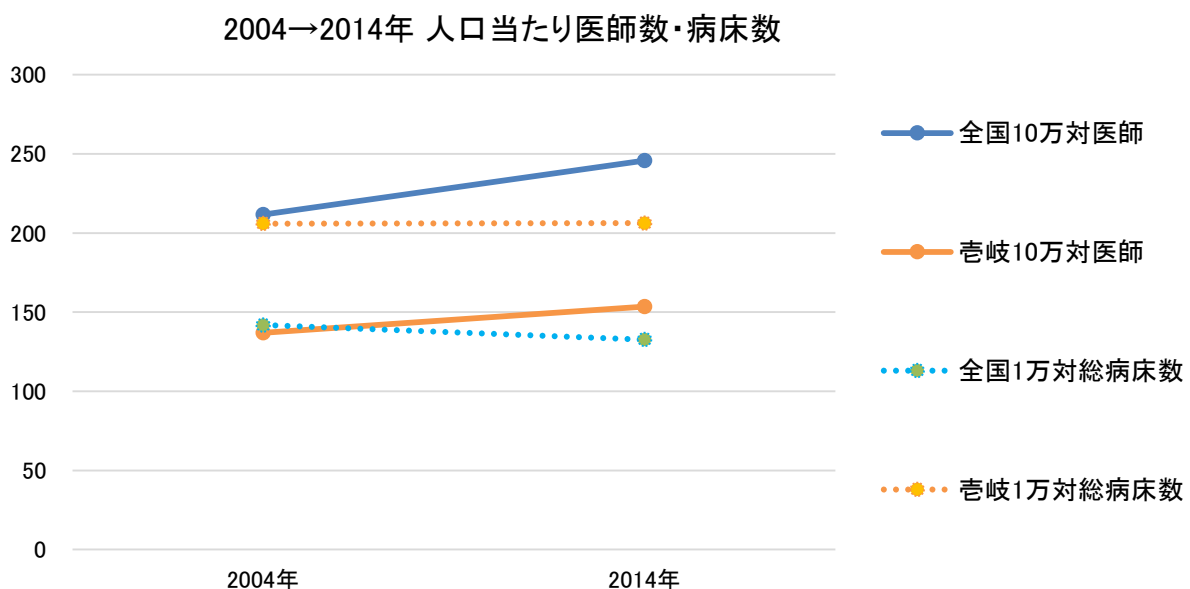
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が7(人口10万人当たり22.3病院(全国平均7.1)偏差値89)であったが、2014年に6(人口10万人当たり21.9病院(全国平均6.7)偏差値87)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が15(人口10万人当たり48診療所(全国平均76)偏差値36)であったが、2014年に17(人口10万人当たり62診療所(全国平均79)偏差値41)と、2診療所が増加した。

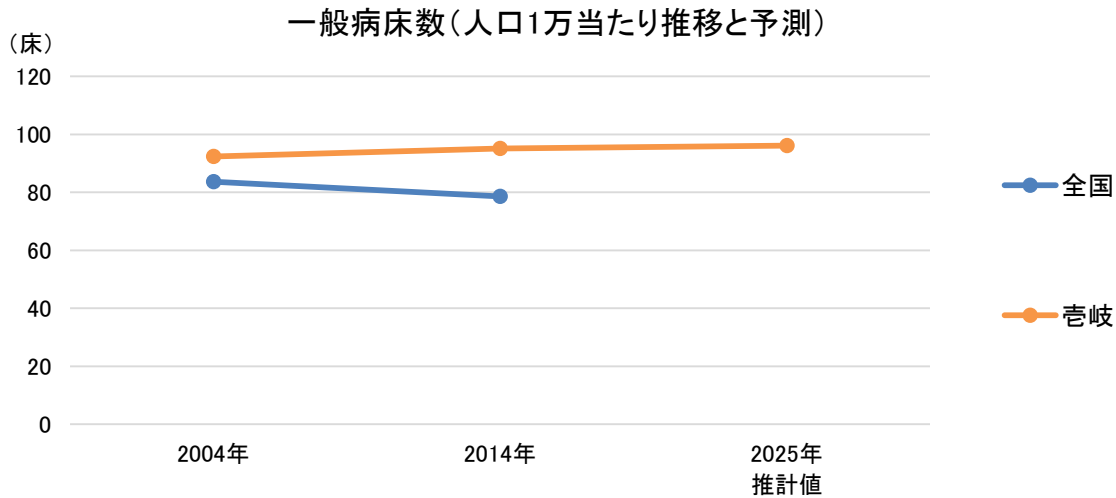
2004年の総病床数が647床(人口1万人当たり206(全国平均142)偏差値61)であったが、2014年に564床(人口1万人当たり206(全国平均133)偏差値63)と、83床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が43人(人口10万人当たり137人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2014年に42人(人口10万人当たり154人(全国平均246人)偏差値41)と、1人の減少、率にして2%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



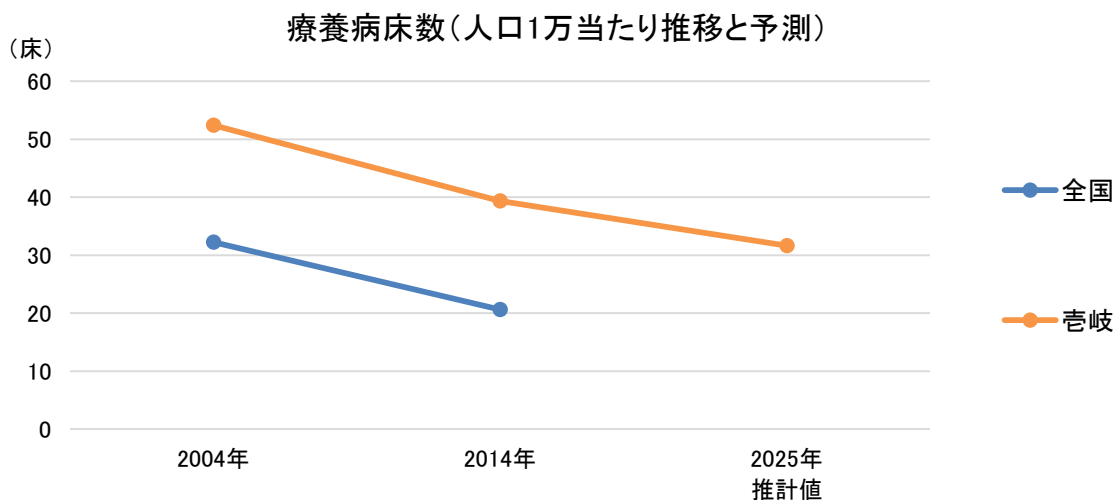
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が290床(人口1万人当たり92(全国平均84)偏差値53)であったが、2014年に260床(人口1万人当たり95(全国平均79)偏差値56)と、30床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には227床(2025年の推計人口1万人当たり96)になることが予想される。



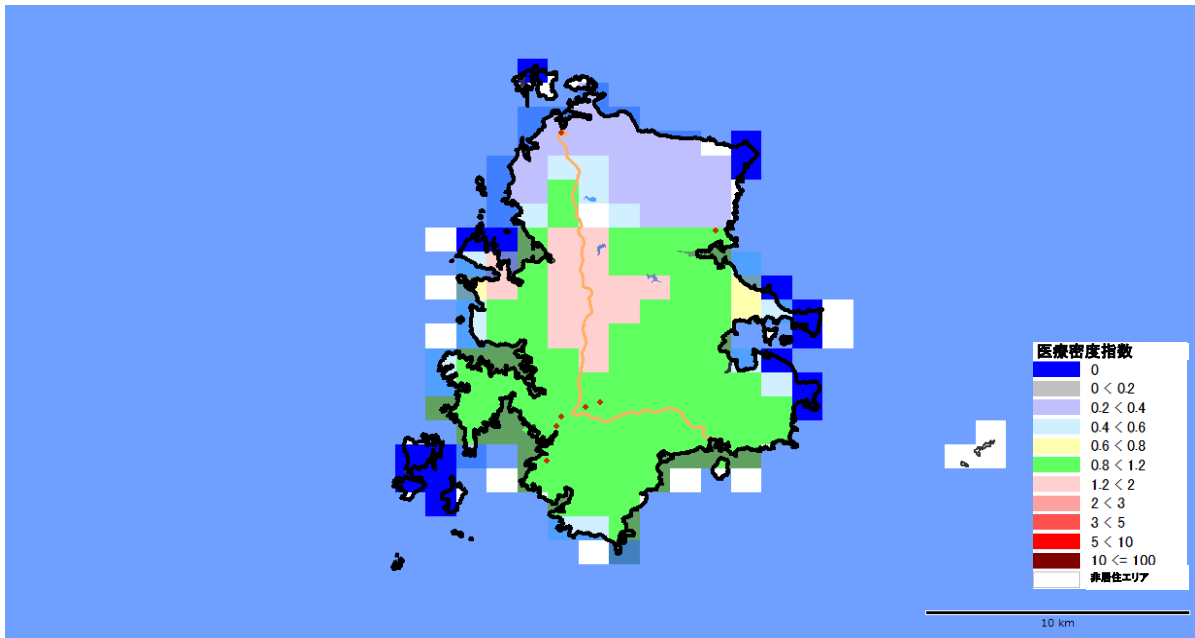
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が253床(75歳以上1000人当たり52(全国平均32)偏差値61)であったが、2014年に216床(75歳以上1000人当たり39(全国平均21)偏差値66)と、37床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には175床(2025年の推計75歳以上1000人当たり32)になることが予想される。

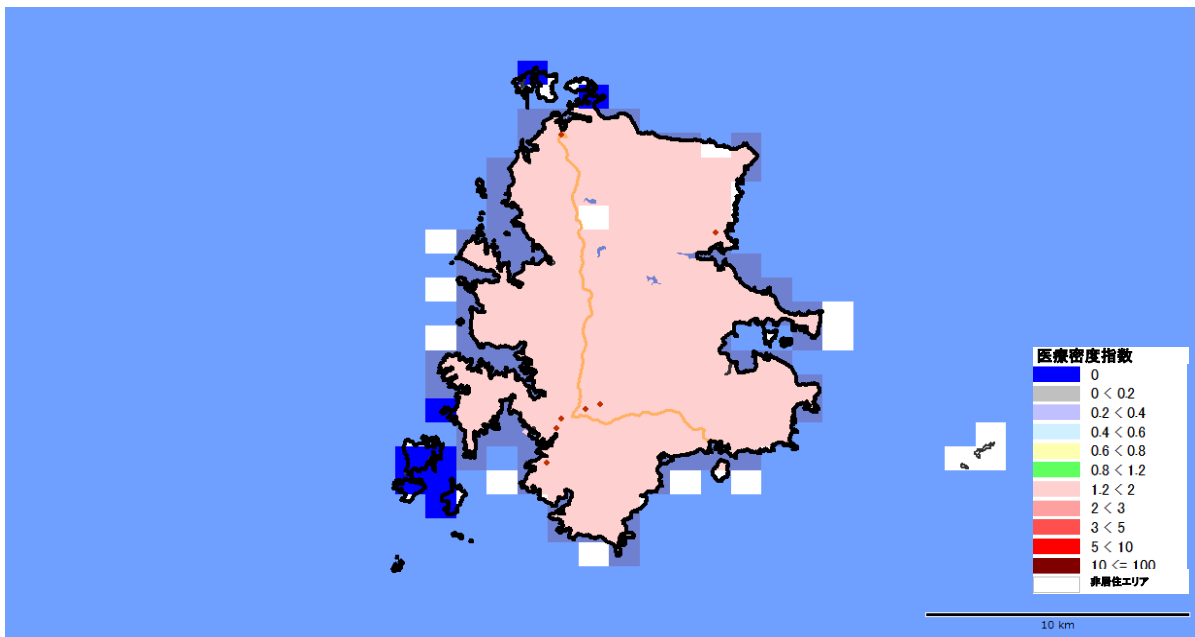


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表42-7-1 急性期医療密度指数マップ



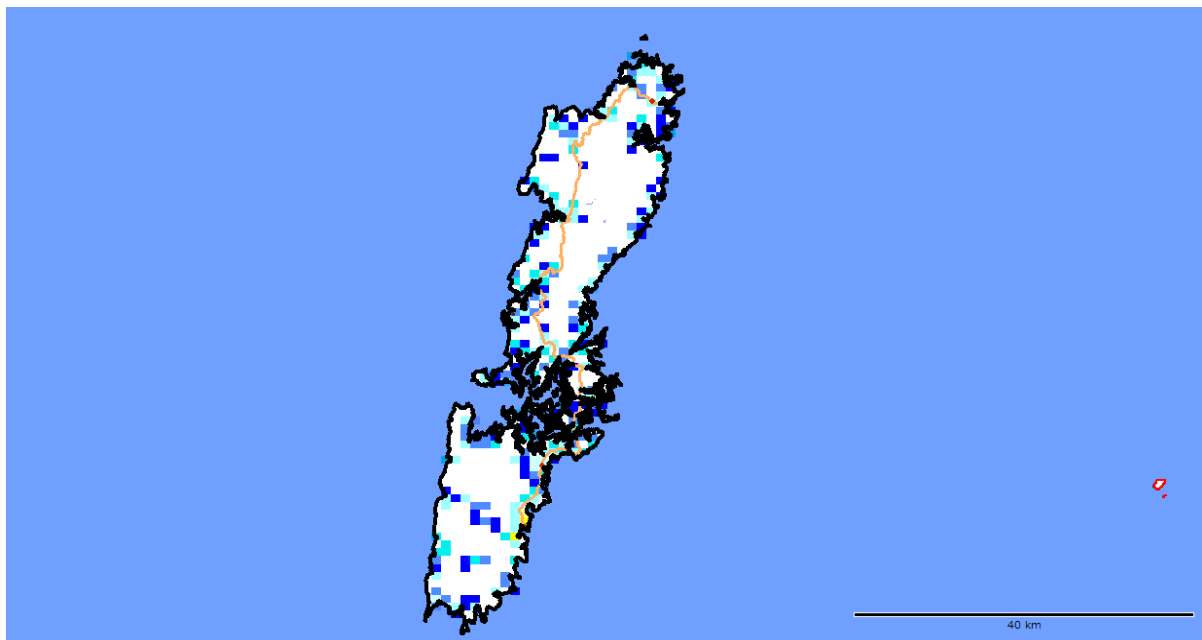
図表42-7-2 慢性期医療密度指数マップ



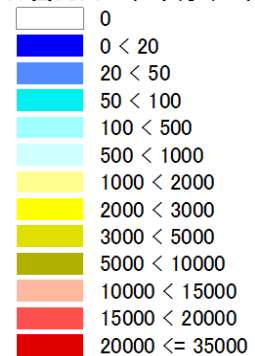
# 42-8. つしま 対馬医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [対馬市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## （対馬医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 対馬(対馬市)は、総人口約31千人(2015年推計)、面積709km<sup>2</sup>、人口密度は44人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 対馬の総人口は2025年に25千人へと減少し(2015年比-19%)、2040年に18千人へと減少する(2025年比-28%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の6千人が、2025年にかけて6千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には5千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 対馬の一人当たり医療費(国保)は330千円(偏差値53)、介護給付費は282千円(偏差値58)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 対馬の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.84、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は2.05で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が41(病院医師数44、診療所医師数37)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は51と全国平均レベルである。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は62で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は37と少ない。対馬には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は0である。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は44で精神病床数は少ない。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は59で診療所数は多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 対馬の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、580人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が440床(偏差値64)、高齢者住宅等が140床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、481人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設61、特別養護老人ホーム66、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム86、グループホーム57、サ高住なし(偏差値31)である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は存在せず、在宅療養支援病院も存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値37と少ない。介護職員(在宅)の合計は、38人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+18%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

対馬医療圏の総人口は、2005年38481人が、2015年に31025人と19%減少し、2025年の人口が25418人と予測され、2005年→2025年の間に34%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に7%減少し、2015年から2025年にかけて8%程度の減少が予測される。

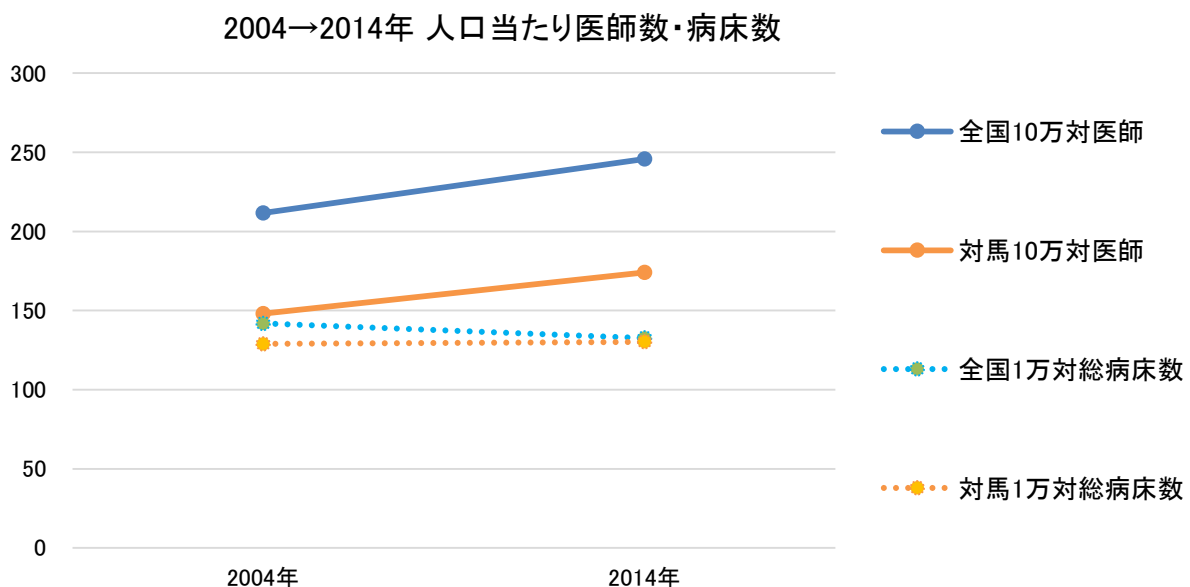
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が3(人口10万人当たり7.8病院(全国平均7.1)偏差値52)であったが、2014年に3(人口10万人当たり9.7病院(全国平均6.7)偏差値57)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が33(人口10万人当たり86診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2014年に30(人口10万人当たり97診療所(全国平均79)偏差値59)と、3診療所が減少した。

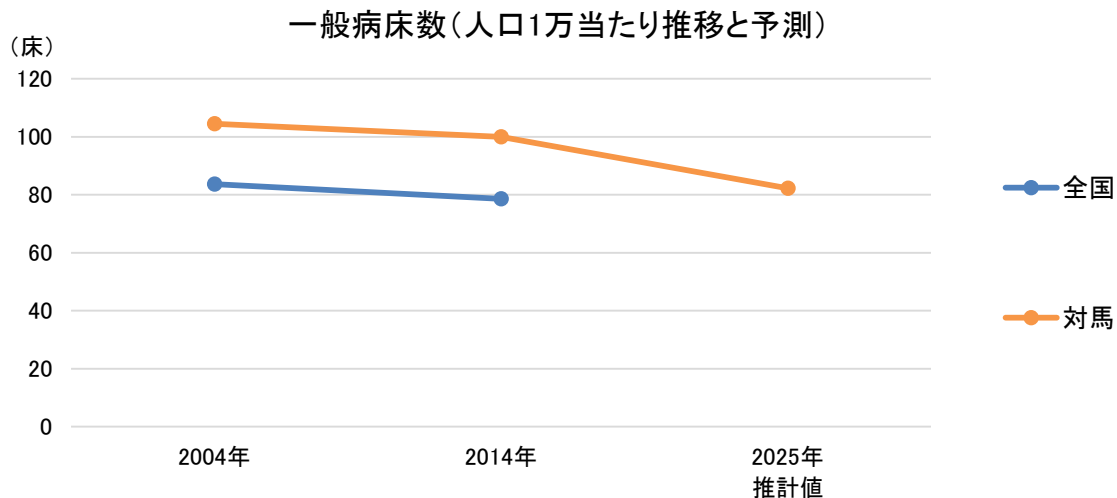
2004年の総病床数が496床(人口1万人当たり129(全国平均142)偏差値48)であったが、2014年に404床(人口1万人当たり130(全国平均133)偏差値50)と、92床の減少、率にして19%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が57人(人口10万人当たり148人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2014年に54人(人口10万人当たり174人(全国平均246人)偏差値43)と、3人の減少、率にして5%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



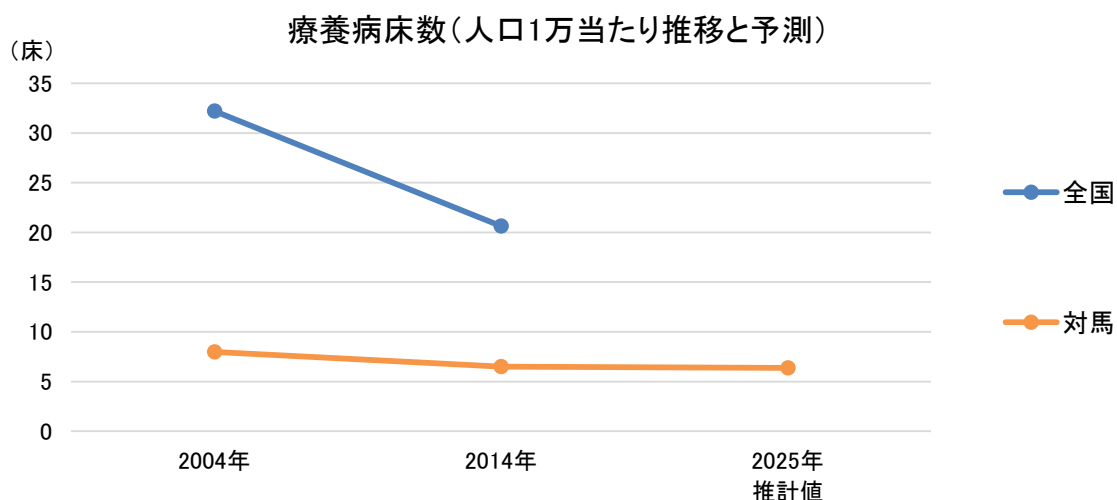
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が402床(人口1万人当たり104(全国平均84)偏差値57)であったが、2014年に310床(人口1万人当たり100(全国平均79)偏差値58)と、92床の減少、率にして23%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には209床(2025年の推計人口1万人当たり82)になることが予想される。



【療養病床の推移と今後の予測】

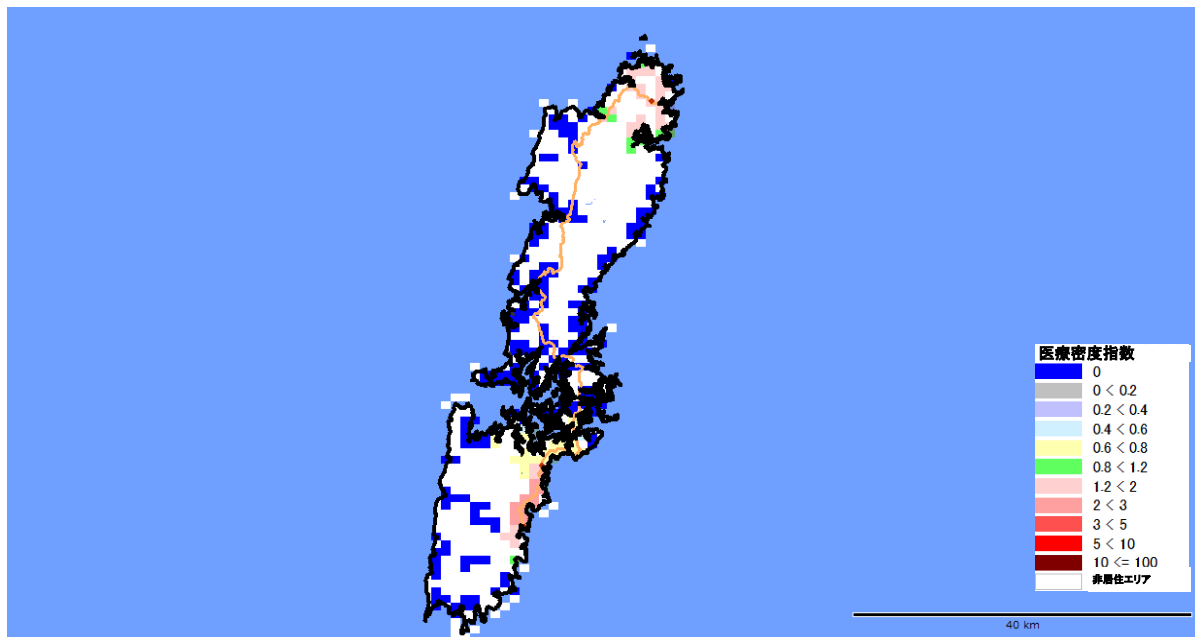
2004年の療養病床(病院+診療所)が37床(75歳以上1000人当たり8(全国平均32)偏差値36)であったが、2014年に37床(75歳以上1000人当たり7(全国平均21)偏差値38)と、増減がなかった(全国平均9%の減少)。この調子で増減なしが続くとすると2025年には37床(2025年の推計75歳以上1000人当たり6)になることが予想される。



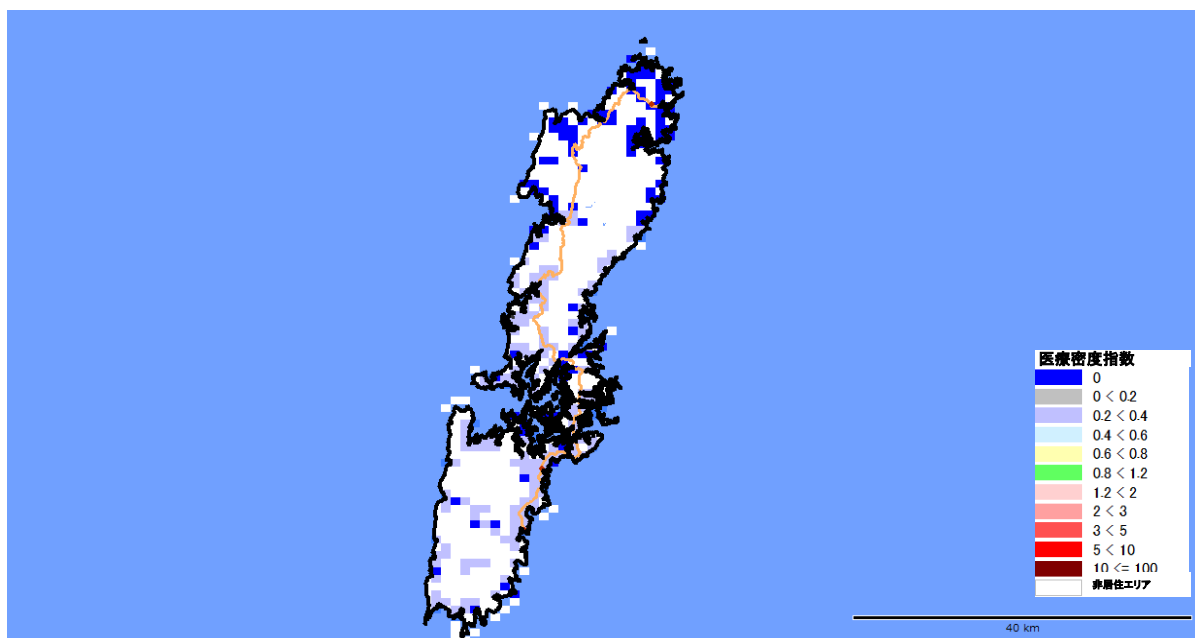


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表42-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表42-8-2 慢性期医療密度指数マップ



## 42. 長崎県（2016年版）

### 注

<sup>1</sup>1km<sup>2</sup>区画（1km<sup>2</sup>メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く（10,000人/km<sup>2</sup>以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/km<sup>2</sup>）、青色系統は人口が少ない（1,000人/km<sup>2</sup>未満）。白色は非居住地。  
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

<sup>2</sup>その地域の住民が、どの程度の医療（急性期及び慢性期）を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

<sup>3</sup>【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数（平成26年病院報告（厚生労働省 平成26年10月））と診療所医師数（平成26年医療施設調査（厚生労働省 平成26年10月））の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査（厚生労働省 平成26年12月）に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人（推計）に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均（99.3床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

<sup>6</sup>日医総研WP no. 352「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集（2015年度版）を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

<sup>7</sup>複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

<sup>8</sup>近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでない。人口あたり病床数（全国値）の算出にあたっては、データを入手できていない地域の人口は除いて計算している。

<sup>9</sup>市町村国保の保険者単位のデータしかないため、同一の保険者において複数の二次医療圏をもつ横浜市と川崎市は保険者単位で算出している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

<sup>10</sup>日本医師会JMAP（地域医療情報システム）で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。